京城日報
（年中無休刊）

十月二十二日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

ウ氏容態險惡 米批准延期觀測

ワイルソン大統領の容態は何等快方に赴かざるのみならず、益險惡の徴候歴然たるものあり政府にては講和條約批准に關し如何にして之れを爲すべきかに就き目下其の方法に惑ひつゝある模樣なるが是れが爲め多分條約批准は延期せらるべしと一般に觀測せられつゝあり（桑港電報）

國務院重要議案

十八日閣會せし國務院會議の重要議案は左の如し（北京電報）
一、黑龍江省長官の報告に依るにセミヨノフ軍隊猖獗を極め浦鹽方面に及ばんとす之れが特別防禦法
一、崇文門稅關稅の外人貨を沒收せる爲め公使（英國）より抗議を受けたれば外交部にて方法を講じ善後策を講ずる事
一、河南實業廳長は郗樸に任命し黑龍江高等審判廳長は周詒柯に署理せしむ

西藏問題研究會

西藏問題研究會は是征霙、曹非等各分擔研究することゝなりたるが右は四部に分る即ち一、總務二、政治三、交渉四、經濟にて毎週一二回會議を開き研究すべしと

東鐵運賃改正

東清鐵道廳は大藏大臣の認可を經て十月十六日附同廳令第二十二號を以て掲題改正令を公布せしが之に依れば來る十一月一日より旅客及び貨物の運賃は左の如し（ハルビン電報）
（一）改正前の鐵道原運賃表に依る露國金貨（二）東清鐵道廳が豫期制定めたる相場に依り一九一七年迄の樣式に依る露國兌換券、ロマノフスキー券（三）鐵道廳及露亞銀行の發行に係る兌換券（四）亞米利加に於て印刷したる五拾哥券に依り徵收すること（五）「シビリスキー」と稱する「オムスク」政府發行國庫證券及「ケレンスキー」券の受入は（一）露國陽曆本年十月卅一日迄に限り（二）發送驛に於て徵收せらるゝものに限る（二）本年十月卅一日迄に發送すべき引受濟貨物に對し鐵道が課したる運賃に限ることゝせり

兩子爵陞敍

二十一日左の通り陞敍の御沙汰ありたり（東京電報）
敍從二位　子爵　閔丙奭
敍正三位　子爵　尹德榮

永衡官銀錢號貸出停止

吉林永衡官銀錢號は財政の窮乏により紙幣を濫發し今や全く窮況に陷り就中吉黑問題以來其窮狀殊に甚だしく遂に一般貸出を停止するに至れり（吉林電報）

東京銀行帳尻

東京銀行集會所組合銀行の前週末帳尻は預金十六億一千四百八十二萬九千圓にして之れを前々週末に比し一千萬圓を增加し又貸出は十五億一千六百九十八萬圓にて一千七百十一萬圓の減少なり金銀有高九千零六十萬圓にて四百七十三萬圓の減少也（東京特電）

日銀帳尻

十月廿日の日本銀行帳尻は左の如し（東京特電）
發行高　一、〇九六、九四九 千圓
正貨準備　七九八、八一七

賄外發行　一七八、一三二
貸出高　三五四、一六六
前月に比し發行高四百八十萬圓を增加し貸出高七百六十萬圓の增加なり

御眞影奉送

今回御下賜相成りたる四葉の御眞影は安州公立小學校奉戴の分は文書課草野通譯生捧持二十四日午前九時五十分南大門驛發平安南道へ又同釜山府第三第四兩公立小學校奉戴の分は文書課金原屬捧持二十三日朝南大門驛發釜山府へ同咸興地方法院奉戴の分は文書課依田屬捧持二十三日朝發同地へ何れも奉送せらるべしと

稅印押捺指定

大正八年朝鮮總督府令第卅六號第一項の規定に依り稅印の押捺を申請さるべき府郡島を左の通指定すべき旨廿三日告示を以て發布さるべし
▲京畿道京城府▲慶尙北道大邱府▲慶尙南道釜山府▲平安南道平壤府▲咸鏡南道元山府
（備考）府令第三十六號第一項印紙稅法第六條但書の規定に依り稅印の押捺を受けむとする者は口頭又は書面を以て便宜の府郡島に其の旨を申告し印紙稅額に相當する現金を納付し其の領收證を添へ押印を受くべき用紙の種類數量及印紙額を記載したる申請書を朝鮮總督の指定する府郡島に提出すべし

上半貿易 千八百五十三萬餘圓

十月上半月朝鮮貿易額は輸移出七百三十九萬千五十二圓輸移入千百十三萬三千百二十九圓合計千八百五十三萬四百八十一圓にして前年同期に比し輸移出に於て減退したるも輸移入に於て四百十餘萬圓の增加を示し結局三百九十餘萬圓の增加なり而して本年一月以降の累計額は輸移出一億六千二百二十七萬三千餘圓輸移入二億六百八十四萬八千餘圓合計三億六千九百十三萬二千餘圓にして前年に比し輸移出五千六百七十六萬餘圓輸移入九千四百三十九萬餘圓合計一億五千百十四萬餘圓を增進せるが出入の總額は三百七十三萬六千餘圓の入超にして結局一月以降四千四百五十七萬餘圓の入超を示せり

鮮鐵荷動概況（上）

石炭、穀類、鑛石、鹽の出荷增加 收入前年に比し六割三分減

九月中に於ける鮮鐵荷動狀況を聞くに發送數量二十七萬二千三百十五噸、收入八十萬五千五百七十三圓にして之を前年度に比すれば數量に於て八萬八千六百三十噸（四割八分三厘）を增加したるも收入に於て四十九萬九千五百七十三圓（六割一分四厘）を減退せり要するに九月中の貨物運輸は追々に需要期の切迫に移出旺盛となり滿洲粟の輸入及び麥の荷動活氣を呈し漬物季節に入り尙ほ價格の昂騰より鹽の買付頻繁となり製鐵事業の活躍に鐵鑛石の輸送頗る多く建築界の隆盛に木材、石材、の需要增加し又生牛の內地移出は本月に入りて一層活況を呈し尙ほ其他一般好況なりしと雖も這は前年度に於ては軍事特別輸送のため一般輸送に大打擊を受けたるに因るものにして即ち軍需品に於て四萬九千餘噸の減退を見尙ほ前年度に於て計上せざりし營業費及補充要社用品を扣除するときは四噸（二割一分）の增加に過ぎず收入に於ては前年度大量軍需品の長距離輸送關係より如上の激減を示せり而して主要貨物の出荷狀況を概觀するに

石炭　平壤鑛業所發鎭南浦著無煙炭は本月に入りて一層不況を呈し需要期の切迫に寺洞炭の出荷三千餘噸に上り安東發撫順炭又前月に比し一千二百噸を增加し殊に九州炭及び開平炭の仁川經由揚入著しく增加し六千八百十九噸に達し尙ほ新安州發安州炭一千七百五十六噸其他鎭南浦發寺洞勝湖里炭、勝湖里炭、及草場洞內地炭等一萬八百餘噸の大激增を示せり蓋し化學工業の隆興及一般家庭用の增加は一因たるべきも前年度に於ける軍事特別輸送の影響は其の一大原因と見るべし

米　內地に於ける米品の相場は前月中鐵道院の無貨扱により市場廻送增加の見越に一時小康を呈したりし產地賣惜みに幾何もなく盛返し尙本月に入りても徐々昇騰し中旬迄に新記錄を作るの高値を現出せり之一般農民の資金潤澤なる一方相場は新米出廻期に於ても落下せざるものとの豫想より放賣するもの更になく旁々需要地合に出品の排底に反撥せるものにして本年未曾有の豐作發表も些々の影響なく常に底意堅き相場を保持せり次に鮮米を見るに前月末稍弱值を示したるも本月に入り內地相場の昂騰に伴はれ尙鮮內一般減收見込に又々硬化し月央正米は五十三圓臺に上れり而して之が輸送は前記內地出廻期の落下なき豫想より買付頗る頻繁となり內地移出旺盛を極めたり總數量二萬一千六百五十五噸にして前年度に比し四千百餘噸の增加を示せり

鹽　漬物季節の切迫に相場稍引締り尙ほ山東製鹽良好にて戎克の入津順調となり殊に近時鮮人の味噌醬油自作自給の風漸く昂じ爲めに一般の需要を帶び總數量一萬六千五百六十三噸に達し前年度に比し十三噸の增加を示せり

木材　木材建築最盛季の關係上需要多く殊に相場尻上りの氣配あり大口の買付繁く加ふるに降雨順當なるを得て鴨綠江材の流筏益々盛況となり尙ほ元山經由豆滿江材の搬入漸次增加し荷動活氣を呈せり

定價　一部金五錢　壹ヶ月前金壹圓五拾錢
廣告料　五號活字一行金壹圓
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號長六千九番

特科除隊入營期

第十九師團第二十師團及び朝鮮派遣の步兵は來年四月迄除隊を延期されたるは既報の通りなるが本年度に於ける第二十師團特科隊の除隊兵は十一月十八日除隊龍山を出發し釜山に一泊の上內地に歸還し解散さるべし而して入營の初年兵は十二月二日釜山に上陸三日來城入隊すべしと又步兵の初年兵は內地各隊にて第一期教育を受け右終了後來年四月頃來城すべしと

京城金融緩和 資金需要多し

八月中旬の金融警戒以來出資商人に對する銀行の態度峻嚴を極めしため商人の反省あり更に滯貨に激し綿布商の救濟も兎に角波瀾を起さず概ね終了したるにつき九月下旬以來京城の金融は幾分安心の域にて引緩みの傾向ありしが最近數日間俄に多忙の狀態にて金利も自然引締り一流手形割引二錢三厘より四厘を唱へ居れるがこれ新會社の株式募集其他に資金の吸收並に需要生じたる事內南金融緊縮の影響あり又ボツ〳〵出穀資金の豫約を要する物價の容易に下落の模樣なき事に坐する如く銀行によりては前途の繁忙を見越し徐々貸出の手控への傾向もあり唯手許資金は尙ほ逼迫を告ぐるには至らず相當餘裕あるに似たり

京城銀行帳尻

十月十五日現在京城組合銀行の預金合計は六千三百二十一萬一千餘圓にして貸出金合計は八千四百九十萬七千餘圓なり各此の內譯を示せば左の如し

定期預金	一八、三六三、〇〇〇
當座預金	一〇、〇八四、〇〇〇
特別當座	七、一九六、〇〇〇
諸預金	二七、五六六、〇〇〇
合計	六三、二一一、〇〇〇
貸付金	四〇、一五五、〇〇〇
當座貸越	四、七七九、〇〇〇
割引手形	三九、一六五、〇〇〇
荷爲替手形	八〇六、〇〇〇
合計	八四、九〇七、〇〇〇

森鐵增資申請 廿一日申請す

鮮森林鐵道資本金一千萬圓を二千萬圓に增資する件の許可申請は津田鍛雄氏を發起人總代として廿一日主務官廳に申請書を提出せしが許可の上は成るべく會社の創立を速かならしむる由にて成立は年內に運ぶやも計り難し

殖鐵募株締切 意外の盛況

朝鮮殖產鐵道株式二萬株の公募は二十二日午後四時を以て一齊に締切りたりその應募幾何の數に上るかは茲兩三日後ならざれば判明せざるも二十一日迄の申込み京城十三萬餘株既に約十倍なりしに最終日は待ち構へたる大口申込頻々として絕へず各地に於ては一口四十萬株（公募の二十倍）の申込みありたりとの情報あり京城殖銀行の扱のみにて二十萬株に達せし模樣あり又東京大阪の狀況は尙ほ不明なれども東拓三菱の關係上申込みは相當盛んなる模樣につき結局の申込みは少くも內倍を超ゆる或は二三百倍に達せやとも觀測され早くも創立事務所にては割當て株の分配率につき頭を惱め居れりと

移民應募總數

應募戶數二千七十戶
東拓第十回移民は去る九月末日を以て締切りたるが其後尙本店事務所並に支店出張所に於て應募者の資格調査の爲め完全なる總數を知る能はざりしに三日以前下關一氏來京東拓支店と事務打合せの結果茲に應募總數判明したるに
應募總數は第一第二種合計二千七十戶にして之れを募集定數の第一種七百戶第二種五十戶合計七百五十戶に比すれば實に一千三百二十戶の超過となり昨年度の應募總數一千五百二十九戶に對比せば五百四十一戶を增加し同社空前の好況と云ふを得べく併も第二種移民は募集戶數五十戶に對し實に

九倍超過

を示したるは殊に注目に價せり應募者の最も多きは岐阜、佐賀、福岡、鹿島、岡山、香川等の順位にして其の申込受付は第一種內地一千百四十四戶朝鮮四百七十六戶第二種內地二百八十二戶朝鮮百六十六戶なり京城支店にては右申込者は詮衡中にして來月下旬より承認通知發送の運びに至るべしと云ふ左に應募縣別を揭ぐ

縣別	第一種	第二種	合計
山口	七六	二二	九八
廣島	九七	一九	一一六
岡山	八七	三〇	一一七
香川	一〇一	一八	一一九
德島	三〇	七	三七
高知	二七二	五四	三二六
愛媛	五一	二一	七二
和歌山	四〇	七	四七
大分	二一	一〇	三一
福岡	九九	二四	一二三
佐賀	一二七	二四	一五一
熊本	八六	一八	一〇四
岐阜	一〇九	四三	一五二
愛知	七四	二七	九八
奈良	一四	二	一六
福井	三一	一〇	四一
其他	三〇七	一一五	四二二
計	一、六二三	四四八	二、〇七〇

醫師試驗合格者

第十一回朝鮮醫師試驗は二十一日を以て全部終了したるを以て二十二日各部試驗成績を發表したるが合格氏名左の如し
▲全科合格者　能治大郎、熊野有一、木村文三郎、合屋達造
▲第一部合格者　鎌田方、上村敬太郎、熊野有一、澗義良作
▲第二部合格者　安藤吉右衛門、鎌田方、吉良貞壽

教員試驗施行

小學校及び普通學校教員試驗は廿一日午前八時半より南山京城高等女學校內に於て施行されたるが廿六日を以て終了すべしと

忠南の郡守會議

忠淸南道廳にては來る二十七日より向ふ三日間郡守會議を開會する由なるが右に就て高津大田郡守は右會議に列席の爲め二十六日出發する筈なり（大田）

京畿金融會議

京畿道管內金融組合長會議は第二日目を二十二日午前九時より會議室にて開催し藤知事松本第二部長臨席し組合の金融に關する諮問事項の說明ありて十二時散會せり

仁取定款改正

仁川米豆取引所理事長若松兎三郎氏は去る十九日の臨時株主總會に於て決定せる買入身許保證金引上に關する定款改正認可を二十日付其の筋に申請したりと

平北輕鐵却下

三井系より出願したる孟中里江界間の平北輕鐵は當局より朝鮮產業鐵道との合併を勸告したるも結局不調に終りし爲め既報の如く產業鐵道の許可となり三井系の計畫は自然立消ゆとなれる由

財界閑話

◇釘本京商副會頭は民間實業界の花形でその本町の事務所には朝は早くから押すな〳〵で往訪者が押しかけてゐる▲君は大抵な人には自身面會する方針をとつてゐるが事業上や公共の事で外部に出かけなくてはならぬ事も少なからず何しろ客には逢ひたし出かけねばならずで閉口する事が多い▲唯君は要領のみを語り無駄口を利かぬ人であるから話し振も早い方だが時には長廣舌の來客に弱らされるさうな▲新會社の續出で株式資金の需要多く金融界は最近可なり繁忙のやうである二十二日の如く一寸目立つて金融も活氣立つてゐた▲殖鐵最後の公募日であるからだらうか、案外の多數に割當難を感じてゐるやうだ▲東拓支店長の如きは十倍で澤山さと云つてゐたが案外の多數に割當難を感じてゐるやうである、松平委員は朝鮮主要事業の策源地となつてゐる、目下目論まれてゐる事業も五指以上だがそれらはボツ〳〵世に出て來るであらう。

朝釀本社決定

去る十二月成立したる朝日釀造株式會社の假本社は永樂町二丁目に決定又事業は着々進行しつゝあれば釀造擔當の技師も內定せしにつき近く來任の事となるらん

鴨綠江の林業

安東縣新義州奉天其他の資本家により發起計畫中なりし資本金二百五十萬圓の鴨綠江林業會社は東拓會社の持株に付多少の曲折ありしも既に發起人側との交渉纏まる見込みにして五萬株の內二萬株乃至二萬五千株を東拓に引受くる事となるべく不日川委しく其他の凡てを發起人贊成人側にて引受け理事の新義州安東縣に來るを俟ち雙方の諒解を得る見込みなれば遲くも十一月中には創立總會を開催するに至るべきかと某有力者は語れり（安東縣）

淨法寺中將視察

淨法寺師團長は金泉附近に於ける步兵第八十聯隊の秋季野外教練狀況視察の爲め二十二日朝十時京城驛發下の關長谷川副官を隨へ出張したる

佐藤中將來壤

陸軍中將佐藤鋼二郎氏は鎭南浦に於ける重砲兵演習を視察すべし

重兵砲來城期

鎭海灣重砲兵大隊は永興灣に於ける實彈射擊演習を終了後歸還龍山に一泊宿泊する事に決定したるが右到着期は三十一日午後七時にて一行は將校以下約二百名なりと

◎教員養成所生徒修學旅行　京城中學校附屬臨時小學校教員養成所生徒二十三名は職員二名に引率され二十九日夜南大門驛發內地修學旅行の途に上るべく一行は一日神戶に上陸し大阪奈良伊勢名古屋日光東京鎌倉宮島等を見學し十五日歸校すべき筈也と

◎京城中學校生徒滿洲見學　京城中學校第五學年生六十五名は職員三名引率の下に滿洲見學の爲め三十日夜出發奉天大連旅順等各地を視察すべしと

◎鮮銀券日報　二十日現在左の如し
發行高　一二〇、七四八、一五三
正貨準備　五一、六二二、四一一
保證準備　六九、一三五、七四二
仕拂手形　五七七、五九〇
正貨準備
保證準備　一、一五五、一七六

人事消息

▲赤池警務局長▲時永事務官　二十一日政務總監見送りの爲め來釜大池旅館に一泊二十二日午後四時十分發列車にて大邱に向ひ同地視察の上歸城の豫定（釜山特電）
▲芝生鎭海要塞司令官（陸軍少將）　元山に於ける重砲兵大隊實彈射擊演習視察の途二十二日夜來城二十四日朝出發の豫定
▲山內靜夫氏（兵器局器財課長工兵大佐）　二十五日東京發朝鮮經由滿洲へ
▲早川師團軍醫部長　黃海道地方に出張中二十四日歸城の筈
▲中西滿鐵副社長　夫人同伴二十一日朝發大連へ
▲中原晉作氏（朝鮮商銀東大門支店長）　往復三週間の豫定を以て二十日出發大阪及東京へ
▲杉山四五郞氏（朝東鐵事務總長）　二十二日朝退城
▲川上常郎氏（東拓理事）　來城中の所二十二日午前九時五十分發列車にて北行同夜平壤に一泊すべし
▲毛利萬吉氏（殖銀司事）　退職は事實に非ず森本市郎氏辭任の誤り

懸賞川柳（十五）　劍花坊先生選

秋の風
多仕度しろと促がす秋の風　木浦　笠坊
斷済が一八で戻る秋の風　清州　木偶坊
下等社會の秋の風恐ろしい　京城　飛入
流連がぶらりと戻る秋の風　清州　町の人
頬杖の顋にぢれつたい秋の風　永登浦　雪園子
吉原に秋風を知る不幸者　京城　玻璃男
持參金無くなる頃に秋の風　平北　柳好坊

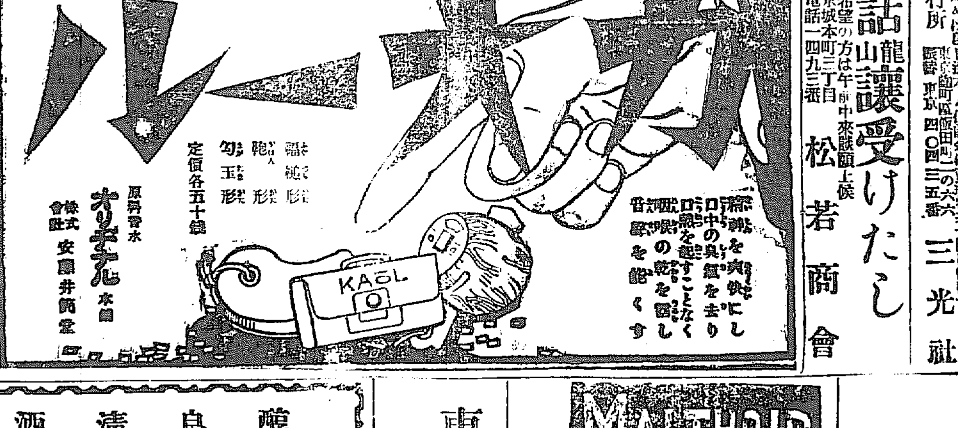
其の日

◇英のフイツシャー提督、倫敦タイムスに於て、海軍の將來を論じて曰く、航空機發達の結果、今後の凡ての軍艦は、潜航可能性を有せざれば危險なりと。文明は戰爭をより悲慘ならしむるの例は、歐洲大戰に於て實現せられたり、攻むる者の進步と守る者の進步は、勢ひ一進一退すと云ふ言論も容認さるべし。
◇一時盛んに傳へられたる日本訪問飛行は、何時の間にか火の消えたるが如し、ダヌンチオ君のフューメ問題にて、打ち切りとなりたるか。打ち切りも可也、來ることも來らざることは吾人の關する處に非ず。然れども吾人の與へるは吾が航空界也、大分世間を騷がせたる、郵便飛行も何時何うなりしか知らず、全く幽靈然たり。實はくばせめては遞相の聞か、俳句位に迄ぎ付けたきもの也。
◇大養木堂君外調脫退を傳へらる、之れ既に定まれる運命に非ざるか、將た又君の主張たる國策確立が、既に成れるに由るか、抑も亦其事の到底行はれざるに見切りを付けたるか、時下政機動かんとし、一般政治にも變革を見んとする時、君の退は多少國民の興味を引かざるに非ず、又一種のバロメーターとするに足らむか。
◇時下深秋爽氣、近郊の秋色は人の愛すべきもの多々、特に吾人は秋の牛耳洞を賞す、鍾路を出せる處、眞に花時よりも美也。而も都人士の之れを捨て顧みざるは、雅懷なきを憾む。

◇男も女も知つて置くべき
人を引付ける座談の秘訣
▽男女の交際、人を說落す方法、談判交渉
▽借金の取立其他社交一切の秘訣を網羅す
▽男女の交際

座談の仕方で、座談の上手な人は、どんな人をも感服と感心させ、人を引き附け人に好かれるけれど、座談の下手な人は、思ふ事が十分に謂へない計りでなく、思はぬ恥をかき思はぬ失敗をする事がある。本書は青年男女の應對談話、貸金の取立、借金の斷り、人を說き落す方法、談判交渉、人を訪問する時、訪問せられた場合、大小の宴會集會に於ける挨拶及話の仕方、醫者女中との應對法、結婚出産招待其他一般の喜び事から、死んだ時の悔み、病氣見舞の口上及夫等の場合の應對の仕方は勿論、日々の座談社交一切の秘訣を一々實例を示して詳述したもので、ドンナ話下手な人口の重い人でも即座に話上手になる事請合ひである。人に好かれつゝ人氣の中心にならんとする人は、至急申込みあれ。
▲本書は第十版三百頁の大著に拘らず、宣傳の爲め一千部を限り特價九十五錢、送料七錢に割引す。希望者は新聞名記入の上振替で申込めば代金引替郵送でも送る▲前金注文は振替東京四〇四三ガ一へ拂込めば即日送本▲但前金は郵送料共一圓に割引す。
發行所　東京麹町區飯田町二ノ六六　振替東京四〇四三五番　三光社

電話龍山讓受けたし
▲御希望の方は午前中來談願上候
京城本町三丁目　電話一四九三番　松若商會

衛生口錠


口中の臭氣を去り爽快にし
口臭を起すことなく
咽喉の乾を醫し
聲音を能くす
舐る形　艶人形　勾玉形
定價各五十錢
原料香水　オリヂナル本舗
株式會社　安藤井筒堂

虎疫流行の時
最も的確なる殺菌力と蠅及其幼虫を斃すには
警務局衛生課御用
特製クームヒン の御使用を
製造元　京城旭町一丁目　山田禎輔　電話二〇七八番　振替京城三壹九六番
特約店　新井藥房　島久支店　山岸天佑堂　森川藥店

看板はフシノ工舍
サツポロビール專屬　工所京城本町三丁目　電話七三一番

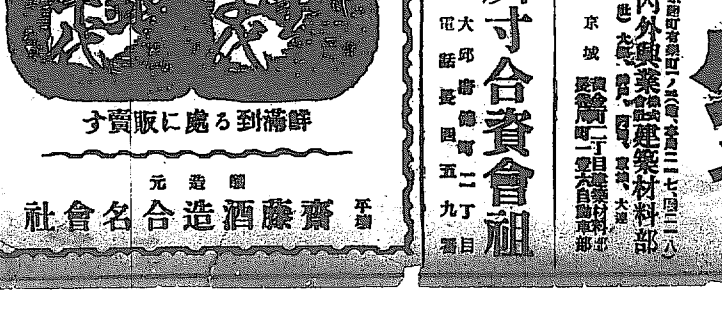
軍隊拂下被服類
京城府北米倉町　電話一壹壹二番　村上商店
營業品目
一、紺茶ラシヤ服井ニ外套各種作業服
狩獵用具、防寒用被服、毛布、諸防寒靴
新品メリヤス、雜貨

運動會、宴會には是非御使下さい
衛生組立浪花折箱
◎價格低廉◎運送至便
全國到る處の乾物店八百屋に販賣せり
見本御申越次第送呈仕候
日用雜貨家具荒物問屋
（は）大谷藤四郎商店
大阪市南區四丁目　電話一九九番

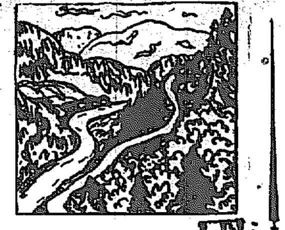
朝鮮銀行大邱支店
殖產銀行大邱支店
鮮南銀行
大邱銀行
東拓大邱出張所

MALTHOID
マルソイド
便利瓦中最優良品たる資格を有し堅牢無比、會社工場の屋根に最も適す
東京麹町有樂町一ノ三（電話本局二七四三一八）
內外興業株式會社建築材料部
（支店）大阪、神戶、門司、京城、大連
京城　黃金町一丁目　建築材料部　自動車部

東亞燐寸合資會社
大邱壽町二丁目　電話長四五九番

醇良淸酒

評滿到る處に販賣す
釀造元　平壤　齋藤酒造合名會社

大邱府東雲町
大興電氣株式會社
電話四六二番



國境横斷旅行（三七）

午後四時に日の暮る 昭洞於口から鷹洞へ 滑稽な山中の火見櫓

鍾城から惠山鎭へ

延岩にて　特派員　伊藤韓堂

美しく紅葉したツルチュグの畑 此地方も旱害で蕎麥が減收した

雨の少い農事洞で降り込められたのも不運だが長く滯在することも出來ないので十六日の朝出發して延岩方面に向うた。午前九時馬の手綱を把つて舊農事洞に赴き新築中のツルチュグ會社の採取事業に人夫小屋を見た。

森林中の建築

だから木材は自由に手に入るものと思ひの外、營林廠への手續きが急に運ばなかつた爲めに態々茂山から買うて來たさうである。同社成立までの資金を提供するといふ大阪の中谷徹七氏が恰度實地視察中なので同社員の案内で一所に見物することにした。老麗山を踰へ開拓洞？と云ふても家は一戸しか無い村に出て其の裏手の平地に行くと此處からは全く

ツルチュグの畑とも云ふべく

見渡す限り一面に生茂り葉は既に紅葉して濃紅色となり眞紫のツルチュグは葉か果か分らない程實つて居る。コレ丈の天産物が何うして今日迄世人に顧られなかつたかと不審に思はれる。會社の人達に別れ、道案内人に伴れられて中二洞方面にと向うた。ツルチュグの在る所は多く平地であつて

沼の如うに水

の溜つた處がある馬に跨つて渡らうとすれば馬脚は浸して脛迄も入つて了ふ。前足を脱げば後足が入り、後足を脱げば前足が入る。一鞭強く加ふれば馬は逆立つてドッと許りに泥田の内には投出された。漸くに這ひ上れば馬の腹帶は斷れて荷物は悉く泥塗れとなり記者が

命とも頼んだ

パイン萬年筆も亦折れて了つた。此の萬年筆はインキが五勺も入りさうな大型で數十回の原稿を書き數十通の書信を認めて向月餘りあつたのにあはれや落馬と共に胸を衝て折られて了つた。幾つかの山を踰へて中二洞に出で直に上二洞に向ふた。中二洞と云ひ

村らしい名前

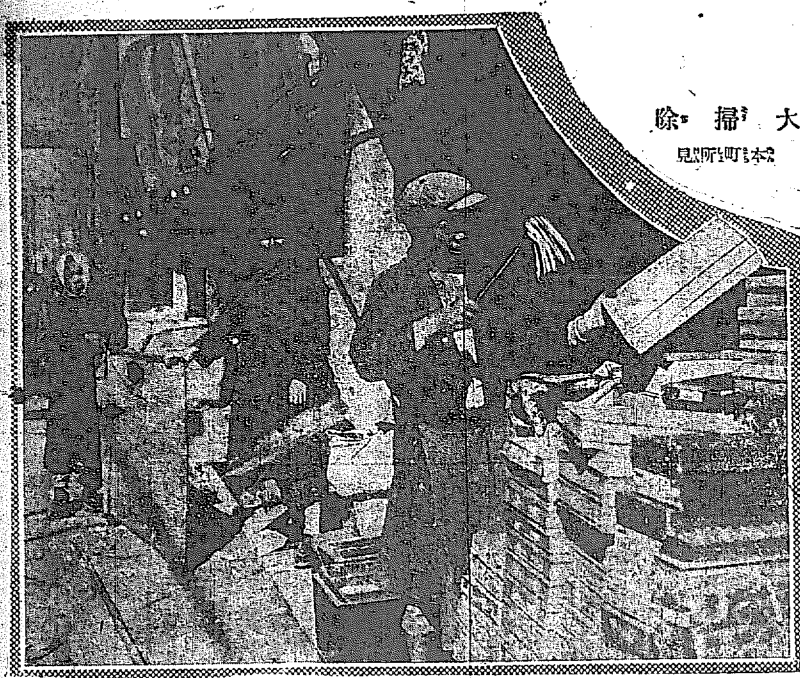
が附けてあるもの其の實家屋は三四戸より無い村で山の頂きや猫の額の如な谷間の畑を耕して生活し四五月頃からは白樺の皮を採取して食料以上の費用に充てゝ居る。上二洞は舊名の昭洞於口と云た方が通りがよく、開拓水が西頭水に流入する入口である。午後四時半に漸暗うなる程深い谷で戸數が四戸か五戸であり乍ら村の中央に

火見櫓が聳え

てるのは滑稽に思はる。之れは森林の火事を近村に知らしめる目的で火見櫓子の築造を奬勵したのであらうが、午後四時に日の暮る、谷の底にイクラ高い櫓子を建てたとて火事の見へやう筈がない。於口からスグ後の山阪を攀ぢ上つて新鶴峰（九百三米突）に出ると夜から霽になつたやうに明るくなる。農夫三五人、頂上の畑で蕎麥の取入れに忙しい。此の邊も今年は

旱魃が劇くて

收穫が少いさうだ 新德峰を下りかゝると農事洞梭坪間の道路に出た。此の道路は六尺幅で森林を切開いた道だけに立派に出來て居る。午後二時牛鷹洞の渡船場に出た。過日來の大雨で久しい間休業中であつたが幸い今日から渡船を初めたのだといふ。例に依つて獨木舟だから馬は泳がせて渡し、人と荷物は舟で渡り漸く酒幕の客となつた。



大掃除　本町所見

村雲尼公 九州御巡錫

村雲尼公には若尼公と共に九州巡錫の爲め廿一日午前九時卅分着列車にて下關驛着直に港務部汽艇神風丸にて直方に向け出發せられたるが關門地方の迎送盛んなりき（下關電報）

寺伯益佳し

食慾次第に增進す 專屬軍醫奇蹟に驚く

寺内伯の容態は漸次佳良に向ひ二十一日午後九時發表に依れば體溫三十七度四分脈搏百〇四呼吸十八にして食慾增進し朝肉汁百匁ゼリー一個アイスクリーム四杯鷄卵牛乳二十瓦　ゼリー一個アイスクリーム三杯ネーブル四分の一夕卵豆腐牛乳百瓦　ソップ百匁アスパラガス二本アイスクリーム三杯西瓜少量を攝取せり菅野軍醫も奇蹟なりと云ひ居れり（東京特電）

其筋著報

其筋よりの照會に對し二十二日午前八時東京發にて總督府出張所大城戸囑託より『寺内伯は未だ薨去せられず昨今の容態少しく良好なり』との返電に接したりと

釜山の大停電

全市暗黒となり 棧橋一帶の混雜

二十一日午後十時頃より釜山全市に亘り五分或は七分間宛停電し暗黒となりしこと十數回あり釜山港内を探海燈にて照されたるが如き光景は面白き處もあれど不便且つ危險極まることにて折柄連絡高麗丸は汽笛を鳴らして入港し棧橋に繋留し乘客は出迎への人々と顏を合せ嬉しさうに奧行き列車に乘車せんとする所へ此の始末にて實に混雜を極め十時二十分頃よりは長時刻の停電ありて土地不案内の旅客は停車場を行過ぎ埋立新町方面に到りて驛は何處ですかと尋ねる者もあり連絡船の着く頃は棧橋通り埋立地方面は往來の激しき時なるに常燈と電燈とは別物と云ふが如く眞暗な街の中を電車の運轉して實に危險を極めたり尚ほ停電時間は約二時間に亘り爲めに午後十一時頃急行の發車は連絡船の檢疫の遲れたる停電の結果大混雜を惹起し停車場の如きは出札口も待合室も蠟燭の光りにて摸樣の用心に警官の努力嚴重にプラットホームには車掌や助役の注意にて幸ひに乘車することが出來たるがプラットホームも同じく蠟燭の光りにて作業をなし急行列車を發車せしめたり斯ることは釜山始まつて以來未曾有のことなりしと云ふ（釜山特電）

重砲隊の實彈演習

永興灣にて

馬山重砲兵隊將校十三名下士七十一名は相場砲兵中佐引率の下に廿二日午前十時五分着列車にて來釜したるが午後六時出帆の御用船宮島丸にて元山に上陸永興灣に向ひ同地重砲兵隊の海岸砲臺に依り實彈射擊演習を爲す筈なりと（釜山特電）

解剖祭

醫專の催し

京城醫學專門學校にては例年の如く二十五日午後三時より本町三丁目開教院に於て解剖祭を擧行の筈なるが當日は過去一年間同校實驗室に於て解剖に附せられた死者の靈を祀るべく若賀同校職員生徒一同參會盛んなる弔魂の式を營むべしと

吉林の初雪

十二日に降雨あり次で曇り勝ち西風烈しく冷氣氷點に達し居たりしに十四日夕に至りて寒氣益々加はり遂に雪となり忽ち白世界と化せり（奉天發）

人參泥捕はる

時價約千圓

江原道鐵原郡鐵原面邑内里百七十三番地京畿道生れ無職朴容善（三）は大正五年窃盜罪にて判刑九十に處せられたるものなるが先頃鐵原の某より殘二十度の窃方を依託され平壤にて百七十圓にて賣却し酒色に消費したる等が販賣の目的を以て攜帶せる外一名と知り合ひになり同人を去る十四日開城に來り同地南大門內某飲食店に於て同居人立渦藥用人參二百三斤時價約千圓を竊取せんとし京城にては開城より高價に賣れると巧に帰て上げ輸送の途中龍山驛にて竊取逃亡し大島町附近にて賣却せんとする處を龍山警察署の刑事に探知され直ちに逮捕目下取調中なるが餘罪ある見込みなりと

此上の歡喜はない

君國の爲、殊に朝鮮の爲 元帥刀が一種の靈氣を注いだか 讃美歌で甦つた實例

渡邊高等法院長談

一旦薨去を傳へられた寺内伯が蘇生せられて其後の經過が良好だとは何よりの事である、之が所謂神明の加護、又は幽妙なる造化の働きとでも言ふのであらう、何にせよ君國の爲めに這麼喜ばしい事はない。敬賀すると同時に近頃稀な

奇蹟的現象

と言へよう、然し世の中には理外の理、人間の力で推測る事の出來ない事が間々ある、私の知つて居る事實にも之れに類似した事があつた、それは昨年私が旅行中九州の親戚の娘が危篤だとの打電に驚いて私は急ぎ早朝驅けつけた時には最う全く

死の狀態に

陷つて居る、總てが諦め投げ一同が深い失望の淵に沈んで居た時で愈々最期の讃美歌を死者の枕頭で捧げて居ると死んだ娘が動き出したやうな氣配がするので醫者が更めて脈を取ると一旦絶ね切つた脈搏に幾分の鼓動を感じるやうなので早速注射を施し手當をすると

呼吸を回復

し遂に蘇生全治するに至つたが娘は今も健全で其時妊娠中だつたのが分娩し母子共に生存して居る、夫れは讃美歌で寺內伯のは元帥刀、比喩する譯では無いが信仰を有つたる娘に最後の讃美歌が一種の靈氣を注いだ如く、

滿身之至誠

の寺伯の枕頭に導なくも動世が金色燦爛たる元帥刀を傳達せんとする時の寺伯の感激は如何ならむ、其の處に靈妙なる一種不可思議な造化の作用が起されるのも敢て不思議とするには足らない思ひ浮かべたら、其の時局に國家觀念の強い國本の

眞髓を捕促

して居る意志の強い至誠の人が再び國事に携はるを得るは敬賀の至りに堪へない、朝鮮の爲めにも能く朝鮮を解し朝鮮に盡す此の伯の存在は欲ばねばならぬ事である一度死を傳へられると長生すると古來から言はれて居る吾々は伯の愈々長壽を祈る者である

機動演習を前に

健兒勇躍して立つ 陣容既に整ふ 漢江の平原秋色深し

秋郊には霽れ渡る、碧空遊鷲をなく晶瑩玲瓏、高く深く澄明にして碧玉よりも匂やかだ也、正に機動演習の好季に入れり、茲に於てか我が龍山部隊は奧田將軍の統監の下に來る二十七日より漢江を中心として京仁の平原に秋季機動演習を實施せむとす、騎兵隊の抗戰は蓋し壯烈を極むべく健兒三千今や勇躍して、武裝を整へたり、堀田部隊が優れるか將た又富塚部隊が優れるか平素の演練如何は正に此の抗戰に於て遺憾なく其の成績を示さむとすなり、機動演習の目的は實に兩軍指揮官及び各部隊長をして情況に應じ適確に軍隊を運用するの能力を涵養せしむるにあれば也

先づ野外教練

三日間に亘る小手調べ

是より先き兩部隊とも部隊長統裁の下に二十三日より三日間京仁の曠野に野外教練を試み、來るべき本抗戰に有終の美を發揮すべく營門を出でたり、苗茅蕭々として亂る、風、前哨の劍影白くして人目を射るべく鐵蹄鳴らむとす

平素の教育に依り鍛成されたる至嚴なる軍紀と旺盛なる志氣と勇往敢爲の氣象とは隨所に見ることを得べし

實戰其の儘

接戰は何處 江畔の壯觀

秋季演習は最も實戰に近似し能く戰時の實況を示すもの也、遭遇戰あるべし、陣地攻擊あるべし、追擊戰あるべし、攻勢防禦あるべし、前哨あるべし、戰鬪準備し、未だ想定を知るに由なければ兩軍接戰の地を判斷する能はざれども思ふに漢江々畔には鉢叢の夢を破るや疑ふ可くもあらず

統監以下決定

統監以下兩軍支隊長の編成左の如く其他も次の如く決定したり

統監　少將　奧田爲能
參謀　少佐　吉永吉次
副官　大尉　足立順市
同　同　千綿忠雄
主計　二等主計　淺野忠道
電話隊長　中尉　志賀又雄

▽東軍支隊
支隊長　大佐　富塚貞一郎
副官　大尉　結城道一
審判官　中佐　石川京吉
同　少佐　湊戸茂治
同　同　中川金吾
同　同　橫山武正
同　大尉　甲直衛
同　同　大津和武雄
同　同　齋藤康次
同　同　西村福松

▽西軍支隊
支隊長　大佐　堀田信直
副官　大尉　柏原滿雄
審判官　中佐　小寺外二郎
同　少佐　一圓友太
同　同　長渡富八
同　同　佐々高裕
同　同　橫澤高規
同　同　和田秀來
同　同　宮地久衛
同　大尉　吉村瑞穗

仁川の虎疫は眞正

新患者續々發生す 徹底的に防疫せよ

十九日死亡したる仁川府花町三丁目五番地勞働朴聖傑妻（二七）は虎疫の疑ひあり探便檢鏡の結果疑似患を發見直ちに大消毒を施して防疫方法を講じたるは既報の如くなるが右は二十一日午前九時眞正と決定したり又同所五十六番地勞働朴連壽（三）は十九日午後五時發病し二十日午前四時死亡したるが同人も探便檢鏡の結果眞正と決定す尚ほ一名の疑はしきものあるも目下檢鏡中なり

更に一名發生

二名の眞正虎疫を出せる仁川府花町鮮人部落には二十二日又復一名の眞正患者發生せり患者は府花町八十番地勞働金德培の妻柳氏（三七）にして二十日午後十一時頃發病し廿一日朝は差したる變化なかりし爲め自ら飲食を爲す等顏る輕症にありしが同日午前十一時頃より俄に重症となり僅に四時間にして午後四時に死亡し頗る急激なりしより直ちに探便檢鏡を爲したる處二十二日午前九時眞正虎疫菌を發見したるものなり

嚴重に防疫

豫防注射勵行

右に就き仁川署に於ては直ちに徹夜的防疫の必要なるを感じ同署長以下十數名の警察官吏の一切の豫防注射を勵行すると共に檢疫的戸口調査を行ひて患者の早期發見に努め或は患家の隔離消毒等に努力を盡しつゝあり幸ひにして此上の蔓延はなからべし（仁川）

車中に發生

乘客全部隔離さる

二十二日朝大田を發したる黄海線行二列車中三等旅客一名疑似虎疫に罹りたるを以て同車一臺を取外し同乘客百三名を消毒の上隔離したり（大田特電）

市場閉鎖か

虎疫と全南

全南の虎疫は益々猖獗を極めんとしつゝあるが爲めに各地市場は或は一時閉鎖の止むなきに至るやも測られず目今最も虎疫發生の熾烈なる靈光郡の開市の如き當局に閉鎖さるべし（光州）

公判

モーリー氏 判決言渡しは二十九日

犯人隱匿事件被告モーリーに對する第二回公判は廿二日午前十時より京城覆審法院第七號法廷に於て開廷、塚原裁判長西山山口兩陪席、寺田檢事、大石通譯官、岩崎書記等着席するや背廣服の被告モーリーは

鬢髮に霜

を置いて傲然たる姿を大久保辯護士と共に現はす證人訊問…等の論告が濟むと大久保辯護士は約一時間に亘り本件の…なること被告の…考へ方に就き其當時の京城日報等を讀み上げて

長廣舌を

揮ひたるが…同二十九日午前九時判決言渡す事とし…に閉廷せり猶當日は米國領事を始め米國人男女十數名及び米國人の傍聽者ありたるが

姜宇奎は死刑

有罪と決定すれば

永島豫審判事談

爆彈犯人

姜宇奎は愈々京城地方法院の豫審に廻された係の永島豫審判事は笑ひながら語る『事件は受理した丈で未だ被告姜を取調て居ないが有罪と決定しさへすれば人一人死んであることであるから死刑は當然であらう本件の如きは長引くと民心に

惡影響を

及ぼすのみでなく取調も困難で困る本件被告を見た人達の證言は殆ど聞くに足る程のが尠いらしい一體何の事件でも證人の證言など區々に分れるのが眞實であるのに今度のやうにピッタリ符合するになると我々には其證言を

其儘眞直

に受取る事は出來ない然し本件の取調は可成早く解決をつける考へである』

釀造品評會

二十二日より二十七日迄馬山小學校に於て第一回慶南釀造品評會を開催す（馬山特電）

慶南道廳の主催

漁業禁止

珍島郡金甲面務安郡智島方面の虎疫續發の爲め其筋にては附近の地を限り漁業を禁示せりと（木浦）

貰ひ狀

香羽といふ綺麗所で三羽と云ふのが去る日某紳士に招かれて侍つたと思召せ▲折柄其宴席が山の手とあつて酒興半ばに背で何だか蟲の這ふ樣な氣がする▲其處で側に居た紳士に『鳥渡見て下さい』と其の白い頸を延べたまでは好かつたが▲紳士も大分醉つて居てゝ、面倒と許り鳥渡背中を覗き込んだ丈で『何にも居ないよ』と云ふ▲三羽は肩をすぼめつゝ『いゝえ何にか居るんですよ最少し好く見て下さい』と頻りに頸を振つて居る▲『何れ何處だい』と今度は紳士が衣服の上から無茶苦茶に撫でると三羽はキャッと叫んだ▲其の格甲がお可笑かつたので一坐がどつと笑つたから三羽も鳥渡面目ないので何とかごまかして居た▲處が歸宅後衣服を脱いで背を見ると大きな蚤が一匹死んで居るのみならず二た處迄刺されて赤く腫れ上つて居たので急に痛みを感じ出して▲大きな涙をポロ／＼落しつゝ『アレーお醫者樣を呼んで下さい』と大騷ぎ其れから以來三羽は蚤の八の字を云ふも身震ひして居るさうな

運動界

高野氏送別會

體育協會有志主催にて廿三日午後四時より前協會副會長高野省三氏送別會を明…物產コートに開催する由會費一圓當日持參にて運動家の參會を歡迎すと

紹介

▲商賣生命移轉　横濱生命保險會社朝鮮支部は…

灯頃

…久保京管局長は…破片が取りきれずに殘つて居るとか、寒さの折などは時々痛み出すさうな▲『お困りでせう』と言へば『否今でも思つて居ませうヨ』と笑する▲『鮮人は天候を豫測するのが上手だ』と平澤車部長は感心したやうに『先日李堈公が朝鮮ホテルの宴會の席上で明日から寒くなる朝は霜が降ると云ふかつナニと思つて居たら翌日からは果して其通り』と首を捻る▲又曰く『鮮人は世が早いと云ふが文官の方が早い…ヨ▲僕が京都の副官時代奈良の演習地で閣下ッと其縣の知事に敬意を表したら▲ツレが中學時代の同窓で僕等が散々意地めた人間だつたのは可笑かつた』懐つかしい氣持がした

胃腸藥 タラコン

各藥店にあり

◆村井弦齋先生 創製のタラコンが胃腸病に卓効あることは世間識者の確認せる所であつて之を連用すれば…

◆帝國醫科大學 …

ぜんそく湯 …

本舖 東京小石川下富坂町廿 無量壽藥園

京城自動車講習所新設

一ケ月にて…東京自動車學校…京城黃金町三丁目

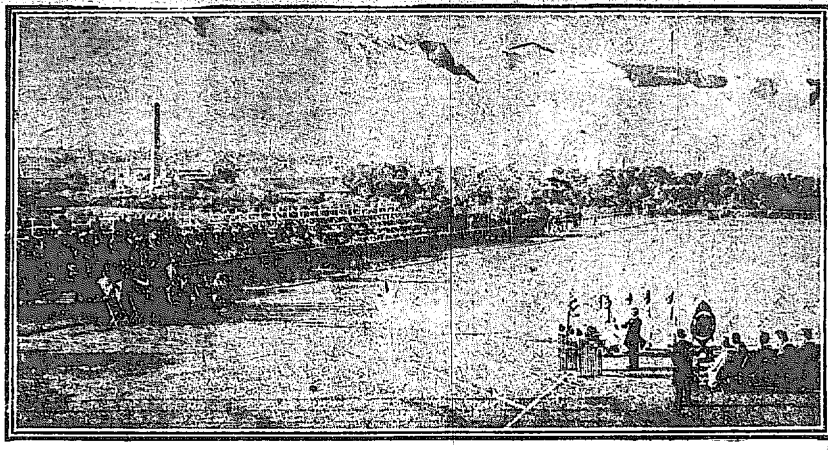
驚く可き効力ある目藥

專門學者の創製した『直治水』は學理上實驗上絶對優秀なる現代唯一の理想的目藥であつて、知識階級に專ら賞用せらる、進步的良藥である。

三大特長　主效
□眼科最新高貴藥を配伍す
□タッター瓶にて効驗現はる
□根本的に視力を强くす
■トラホーム■やに目■ 星目■はやり目■かすみ目■目瘡■うみ目■結膜炎■雪目
藥價　一新式點眼器付 十錢、二十錢
其他眼病諸症に特効あり　各藥店にあり
本舖　大阪 東京　丹平商會

京城電氣會社產品
コールタール
一手販賣　龍山漢江通り八　電話四九番
金物商　島田忠作商店

第五版



大連實業野球團グランド開き

鴨緑江に於ける年中運輸行事 解氷から結氷季まで

鴨緑江口の海運界も漸く處仕かに二旬となりたるが本年の木材を主とする海運狀況に就き大連汽船安東縣出張所主任横關氏の談左の如し（安東縣）

開河 は例年三月十三日にて社船の初航海は三月三十一日の海通丸が第一船なりしが四月中は昨年持越し木材の天津輸出盛を極めたる爲め汽船の入港一時に十二隻の多數に上り運賃も九兩五匁の高價なりしが月末より五月に入り漸次下落し同時に新材の流筏數少なりし爲め運賃下落し六兩迄下押し六月に入りてより新材の

著筏 を見たるも六月末より七月に亘り大旱魃の爲め木材の取引閑散を呈し八月に入りては虎疫流行猖獗を極め非常の打撃を蒙り八月末に至り潤澤の降雨を見江水も增加したるより新筏の到着漸く多きを加へたるも當時船腹不足を告げたる等諸種の波瀾曲折あり九月に入りてより天津方面への取引盛んに行はれ船腹の不足も依然たりしが

運賃 七兩より八兩に昂進し十月に入りてよりは天津方面の買進み著しく社船は定期船二隻の外一進、輝進、益進及び臨時代理船北平號の入港を見る等非常に繁忙を極めたり前記の如く本航路の終航も既に目睫の間に迫りたるを以て社船は臨時船八、定期船七、合計十五航海を剩すも何れも船腹は契約濟にて限りに一航海三千連と見て四萬五千連を運送し得る

計算 なるも風向、河川の水加減にて幾分の減少を見るべく外に政記公司取扱船は破利、勝利、增利、新利の五隻入港しつゝあるも積載量は社船に及ぼず一隻二千連を運漕するものとして十五航海三萬連合せて七萬五千連見當にて何れも契約濟なる此趨勢によりて見る時は終航迄に運搬し盡さゞる

明年 の解氷期を俟つもの頗る多量に上るべきかと云ふ一方天津方面の支那商人は運搬力の如何に拘らず盛んに買ひ進みつゝありと云へば持越し材は殆ど四五萬連に達するにあらずやと思惟せらる開河以來に於ける月別木材輸移出量は左の如し

四月二萬三千八百十五連、五月一萬二千七百六十八連、六月三萬二百三十二連、七月二萬七千五百七十九連、八月一萬九千百四十四連、九月一萬五千九連

浮いたくの上景氣!! 安東縣

仕立屋洋服屋の繁昌 物價の騰貴は其の低止する處を知らず生活難の聲は到る處に聞ゆる中洋服、和服の需要は其の極に達すると叫ばるゝ今日安東縣地方の景氣は如何と見るに大局より見たる經濟界の趨勢も至極上々吉にして一部木材界を除くの外は不景氣の風は何處を吹くかとの好景氣なり

呉服屋 に就て聞くに冬物は既に昨年の倍を出し當地に比し三割以上の騰貴なるも商品の景氣は決して昨年に劣らず本年は高價の爲め却つて賣上品は上れりと云ふ次に

洋服屋 に就て聞いて見るに原料の騰貴は非常なるにも拘らず洋服の註文は近來未曾有の盛況を示し新調もの、註文殺到し古服の縫ひ返し、修理物の如きは殆んど顧みるものなし、よし縫ひ返しや修理品を持ち込むもの二三ありとしても劍の惡い手間賃の多き方を顧みるの恐なさず新調物のみにて猶ほ且つ應じ切れぬ有樣にして各洋服店も目下手一杯の仕事を引き受け居るもの、如く先づ近年稀に見るの好景氣……次は和服專門の

仕立屋 に就て聞いて見ると今年の仕立物の多い事は三年來全くない事にて就中木綿物の如き仕立賃の廉いものは殆ど何れも三四十圓以上の上等ものが多し呉服方のより持込まるゝものは後より後へ次より次へと云ふ盛況にて中々間に合ひ切れず一二日と日を切りたる仕立ものゝ如きは何れも斷り居る有樣なりとかくによりて之を見れば今の景氣は決して悪い方でないのみならず空前の好景氣と見る事が出來ると少し手の利いた婦人なら一ヶ月四十圓を稼ぐ事は易々たるものだとある（安東縣）

鑛業投資危險 西伯利地方に於ける

西伯利地方に於て目下一般的に知悉せられ居る各種事業に就き此の鑛石の含有量其の搬出の氣候作業法等に於て鑛山事業が非常に有利なるもの、如く傳へられ居りしに對し多少躊躇に反せる感を抱かしむるものなきに非ず殊に同地方には目下過激派暴徒の横行熾まざるものあれば深く進んで鑛山經營の任に當らんとするには一に軍隊の保護と我が政府の對露策が將來永く確守せず この徹底的言明を得ざるに於ては安心して巨資を西伯利方面に投ずるを得ざるべし是れ今日識者が單に對露貿易が輸出のみの片爲替に終り而して其の調節の方法を同地方の資源開拓に求め即ち鑛山事業の有利なるに着目し其の急務なるを説き鑛山經營の徒に進取敢爲の膽略なきを慨しつゝある事情以上の如く現況上鑛山業者側の躊躇は止むを得ざる處なりとす終し近き將來に於て或は一二の好消息に接するを得べしとするも大膽に於て將來は兎も角今日直ちに西方利方面に於て我が鑛業家の大發展を望むは多少困難なりとせらる、故若し同地方に於て急速なる經濟的發展活躍を求めんとせば他の方面をも大いに研究調査する要ある可く或は製造工業の方面の如き著目す可き處ならずや是一部に於いて觀測し居るものあり（哈爾賓）

光州の酒造業 株式會社起らんとす

資本金二十萬圓にて申請中なりし光州酒造株式會社設立の件は今回許可の指令に接したるが之に就き松田發起人代表者は曰く朝鮮に於ける清酒釀造事業の有望なるは今更言を俟たざる所にして就中南鮮地方は氣候並に水質の釀造業に好適せるは至極有利なるものと爲すべく吾が光州にては時運の發展に伴れ釀造業の隆盛を圖るべく茲に合同の光州清酒の聲價を發揮せんとする主義に出で將來益々卓越せる會社設立の主旨に外ならず依つて從來營業し來れる古野松田の酒造場を買收し且つ企畫を擴大し經驗に長ずる者を中心に經營せん意圖なれば社成立の日より直ちに營業を開始し得る筈なれば追ふて近日中發起人會を開催すべく今秋は一千石の造石方針にて株式は既に申込み殺到し居れば或は公募するに至らざるべきかと思惟すと云々（光州）

冬仕度 見合せる者が多い 金の懸る哈爾賓の

例年哈爾賓では十月の中旬には間違ひこなしに雪の降る習慣なんだが今年も其例を違へず果して近次白いものをチラリホラリと見せたがバザールあたりではシューバは惡か毛無し綿入ですらも彼是七八十圓以下では著られるやうなものが買へぬ毛裏と來たら二百圓三百圓は高くないかだと云ふから豫かざるを得ないそれと共に大長節が來るそれが濟んだと思ふとお正月が來るで禮裝の仕度をする向きもあらうが其に就て呉洋服商に今年の

流行や値段 に就て訊いて見たがそれに依ると今年の洋服地の價格は約三割方の騰貴でそして今年の服地や柄は概して地味に赴く風で例年は色物が能く賣れた者だが只今では多く黒の無地が

賣れ口が好 いので其れも大抵モーニングです近頃露西亞人も何れの處にも多くモーニングを用ゐてフロックは殆ど紀の姿だと云ふて著ぬ樣な傾きですから從つて日本人の方々も是れに習ふた譯でもないでしようが哈爾賓に我々同商が十三軒もありますが何れの店でもモーニング注文が殺到して居る態を見す、形は例年と大した變化はないが前の深く切れたのが歡迎せらるゝ樣です何にしても一着の洋服を調ふには容易ならぬ大金が要る譯ですから露西亞人など値段を聞いて吃驚して注文を見合せて居るのが多い樣です云々（哈爾賓）

朝鮮製紙初荷 北海道産の賦り荷

朝鮮製紙株式會社が操業開始以來其の製品を釜山に搬出したるもの既に八百五十噸を逸出し豫定なるが目下北海道より原料を積載し來る荷役の後次第其の歸り荷として新義州の鴨緑江口へ廻航中なる汽船主と交渉中の由なれば不日王子製紙會社より鴨緑江材を原料とする製紙の出來るを見るべし因に現在の製紙高は一日約三十噸なるが器械其の他諸機關の關係に熟するに於ては一日四十噸以上のパルプを出だすべき見込なりと語れり（新義州）

◎生徒内地見學（釜山） 釜山公立商業學校修學旅行生徒三學年生徒二十八名は守分教諭引率の下に十月二十五日より十一月十一日に至る十八日間の豫定を以て東京、京都、大阪、神戸、宇治山田、奈良、宮島、大里方面實地觀察修學旅行をなす筈

地方の虎疫 殆んど終熄（清道）

慶尚北道清道郡内の虎列拉は一時非常の勢ひを以て蔓延し發生以來六十餘名の患者と約三十名の死亡者を出だしたるが當局の防疫施設の宜敷と各人の防疫と衛生に注意したる結果昨今新患者の發生を見ざるのみならず患者も日々全治退院しつゝある狀態なれば或は本月中には全部終熄し防疫班の解散を見るべしと

閉鎖す（四平街） 虎列拉も愈々終熄したるを以て既に防疫事務を閉鎖せしが近來又々腸窒扶斯病猖獗を極め滿鐵醫院は隔離病室の不足を生じ附近支那家屋を借入れ假病舍として患者を收容し目下窒扶斯のみにて二十餘名ありと云ふ

東西南北

▽▲忠南輕便鐵道改稱 忠南輕便鐵道期成同盟會々資本金を一千萬圓に增資すべき忠南輕便鐵道株式會社は今回忠南鐵道株式會社と改稱することに決定したり

▽▲新炭の買占め取締 冬季に向ひて奸商の新炭買占をなさんとする者あるやも知れずとて嚴重に取締らんと通達したるよし咸鏡南道第三部

▽▲高い奥地の籾白米 成興豐山郡の物價表を見るに籾白米一石に付上七十二圓乃至七十圓とあるを以て一斗に換算せば七圓何十錢となるべし

▽▲鶏卵五十錢に値上 木浦の鶏卵買上は一合三十錢なりしが其後五十錢に値上となり篩く切れマッチ箱一杯三錢とは破天荒といふべし

商況

株式

大阪株式（至急電報）

銘柄	二十一日後場大引	二十二日前場寄付
大株	三八一、九〇〇	……
同新	三七二、七〇〇	……
日郵	二四四、五〇〇	……
同新	一三七、〇〇〇	……
商船	一六六、九〇〇	……
同新	一四一、九〇〇	……
鐘紡	三八五、一〇〇	……
同新	三六四、一〇〇	……
東紡	二七七、五〇〇	……
東糖	一七一、一〇〇	……
堂米	一七七、一〇〇	……
上取	九二、四〇〇	……

京城現株（標準値段） ▲印騰貴 △印下落

銘柄	拂込額	時價
仁取	二五、〇〇	▲一七九、〇〇
朝郵	二五、〇〇	四二、〇〇
電興	二五、〇〇	一八、五〇
皮革	三〇、〇〇	二五、五〇
東畜	一二、五〇	一五、〇〇
朝紡	一二、五〇	一九、〇〇
朝紙	一二、五〇	三五、五〇
商銀	五〇、〇〇	五六、五〇
同新	一二、五〇	一八、〇〇
滿毛	一二、五〇	△五五、〇〇
滿糖	一七、五〇	四七、〇〇
朝煙	三〇、〇〇	三二、〇〇
鮮土	一二、五〇	三三、〇〇
東亞	一二、五〇	四九、五〇
燕貨	一二、五〇	三四、〇〇
仁倉	一二、五〇	一五、五〇
製粉	一二、五〇	一九、〇〇
朝日	一二、五〇	一四、〇〇
朝綿	二五、〇〇	二二、〇〇

出來高平均値

銘柄	平均値	出來高
仁川取引	一七九、〇〇	一〇〇
東拓新	九〇、〇〇	一〇〇

仁取筒拔相場 百八十圓買現

仁川取引所株は擂込相場へ一反押し上伸を演じ一旦百七十八圓見當にて手合せ後一躍百八十圓迄高化し高値を唱へは午後より今後の先高思惑の商内あり八十圓臺に手持の商内ありて人氣は既に二百圓臺の賣相場を待たるゝに至れり月末未だ確定せざる今日九十圓を唱へるは仕手筋にて一氣に二百圓臺を窺ふと見るも一般の買物落ちせず期日確定までには高値摺入門を抜くべしと思はる

殖銀は底入か

殖産銀行株は一時銀行株の好況と共に百十二圓迄買はれたるが其後買氣弛び漸次下押しを續け昨今は百四五圓に拂ひ下げ九十九圓に對し當地には内地唱へ九十度に取引せらる、有樣にて高値より十二圓方の低落を來したる譯なるが同行の増資の時期は遲くも來春なるべきが其の增資額に對して強氣の豫想する如く三千萬圓なりとせば二千萬圓迄の買餘地あり相場は買物ならざる向あれば此上大なる安値は望まれざるべく昨今の大商内は押目の買物なりと稱せらる

殖鐵申込好況

殖産鐵道株式申込は非常の好況を呈し…

物價調節と株

閣議當日の期米が大瓦落を演じたるは政府が秘藏せる暴利取締令を活用すべく傳へられたる相場ち嫌氣を呼びて遂に暴落となれるは斷定するに難からざる所なり然るに期米と共に崩落せる綿糸相場が之れを冷淡に迎へ以上の如き三割安に止まり三番以下の暴落は株式安に因るもの由にて彼此對照すれば株式市場は物價調節を餘りに恐れ狼狽するは嫌ひなきに非ず而して物價調節の財界に致す影響に就ては政府が商品思惑に壓迫を加へんか商品思惑は一變して株式思惑となるべく却て買材料たるべしと解釋するを得べくも一面の觀察たるを失はず物價調節が人氣を害するにしても能はざる所にして之れが爲め持株筋の賣物現はれずして實際高止まりする結果唱値は縱し思惑取引に於いてさへも暴落するが如きこと無かるべく左れば物價調節は商品思惑に轉せしむる所あるも亦は買控へに一段の安値を出せる後ならざるべきか

中鐵も好人氣

朝鮮中央鐵道は最近に中央鐵道と改稱し目下增資新株を募集中なるが大阪野村商店にて引受け貸出銀行の代田店に於て主として取扱ふ外野村商店の代理店たる田中商店に於て申込證據金の如き取扱に付其の申込證據金を用ひ一枚に付金五錢を要するのみなるを以て申込は一口少くとも五千を下らず多く一萬二萬の申込あり締切迄には同店のみにて十萬に達する見込の由にて總額は盖し莫大の數に上るべく一口四十萬と云ふが如き申込みもありたるやに聞き締切時間迄は恐らく百倍を下らざる申込に達すべく豫想さる

仁川株況 仁取一足飛び

仁川株界の作方たる仁取は十日の株主總會以來俄然人氣沸騰し買ひ進みの買物入込み相場は一躍百六十七八圓を唱へしが京城筋よりは更に無く前日は百八十圓見當を唱へ買進むの勢を示し一方には又賣人氣沸騰し配當に至るまで手持株は過般の低迷状態に迷ひの如くに思惑者の如く目先を望まざる有力者のみにて容易に賣放たず此の調子では群集心理が表現して二百圓迄と云ふ大胸算も餘り遠き事にはあるまいと益々高値を主張する向き多きが如し

北濱だより

休會明けの市場は萬人意外とする慘憺たる總崩れ▲山東問題の正案が膠なく上院で否決された事などは買氣を唆る好材料なのに材料が効かずし暴利取締令の反映か崩れたのは根帶の非常に深いものがあると考へる程迄ひか起るか▲物價調節を冷静に考へれば景氣を作る程の利益を收め得ばこそ紡績會社の族生も利益の多き結果紡績會社の族生も利益の多いからこそ供給過剩に陥つて物價調節には生産増加を第一とする▲百姓の米の騰貴に價格の問題じやない▲然し公と暴落の五割配當、六割配當り案じたるものじやない▲所が紡績株の五割配當、六割配當

市場雜觀

廿二日前場 寄付	四一、七〇
高値	四一、六一
止め	四一、八三
安値	四一、五五
公定相場 一節	四一、七八
二節	四一、七二
三節	四一、六四
四節	四一、六一
今日出來高	三十五萬六千石
◇限月値段 常入	四十一圓八十七錢
中限	四十二圓…
先限	四十一圓十一錢

市場は愈々月末戰の色彩を濃厚にし騰落も隨て此の圍内に彷徨せり

米況

大阪期米特電

二十二日前場 月後場	
寄付	四〇、四一
二節	四〇、七五
安値	……
止め	……

仁川期米 二十二日前場（大下放れに保合ふ）

昨夜場の商勢を反映して總て人氣は好く折柄引續いて大阪の成行が大引けに打止し折柄引續き大阪は大阪に安く寄り二百丁近くの安値を移して今朝の人氣は減切の寄付を受け先安の豫想で賣込み二十四圓六十一錢と百丁近くの下値を生じ目先手詰め一四十錢に寄付き安値にて大阪出來高も少く前場は一圓七十錢と安寄付き大混戰となりしが八十五錢と新規の買物現はれたること

▲第二節 當限出來不申中先八十錢より三錢と上伸して二十錢と戻りし前場より三十錢と強調を示し十一圓六十五錢と始めより大阪の出來に伴ふ新規の賣物に押されたるも十二月十四圓半ばより十四十五錢と手堅く引緩

▲第三節 當中限出來不中先六十錢より四十五錢と反撥しの買物に五十五錢と戻りしが前口の手詰めに七十錢と取れしが一應の反撥を示すに止まり先手の買物も限月先と中限の外入り米の賣物に押され

▲第四節 當限中不中先四十八錢と引締めに寄り十四錢へ五十錢と追ひ前限の買物出て中先六十一錢に引き戻されたるが手口の入替り二十錢と三錢上げ一時先月のため方向をなく小手の利食ひ

▲第五節 大阪二節の四十四錢と七十錢と始まり仲十五錢に高移りて平均日より十五錢と上げ六十錢迄に買物に打ち返し居る

聯合組織と人氣

連戰連敗の軟派は今回前場阪地米市場の低落と外米代用制度廢止を動機に武力の立場の主張とを盛返せんとて新井の力を組み新聯合を組織して㋤の筋の買物を猛烈に發したる結果前場に於ける以來の相場は何れも大阪に向ひて安値を生じ五十七錢と前日比を一圓五錢と下押したるを以て軟派はいづれも先頭に賣放れたる場面もあり一節に出來る市場の中心となりたる中村一派の一般注目を失つた

京城正米市場

政府の物價調節施設外米代用制度の廢止は期米市場に多少の影響を與へ内地正米又此一兩日來安値を傳へ居れるも當地正米市場は相變らず在米減と新米の出廻り尚早に荷主依然として腰を屈せず精米筋の買控へも人氣の上に利目少なし氣配は引締め上物四十四圓處の高値を維持せるのみならず必需品は何時ち飛放れたる高値に望取りたる向もあるかにて限先の成行きは容易に下押しを望み難き模樣なり

在米愈々減少

十月一日より同十五日までの當地在米は商業銀行漢城銀行同東大門出張所市村倉庫京城精米所倉庫寶藤倉庫朝鮮銀行以上七倉庫の調査現在高一萬六千二百六十二石白米千七百〇六石にて之れを前月末現在高に比較する時は白米四百六十四石玄米は九千〇六十餘石增加せるも外の持米も其後漸次に消化し調査以外の一時豐富を唱へられし外の米も今では前記在高以外には殆ど持米無きが如く之れ端境季に際し古米の買惜みと新米の出廻り遅れに依るものにして本年は豫想外に新米出廻れの餘裕あれば來月中旬前後迄は先づ現狀と大差なかるべきかと

滿洲粟底堅し

本品は其後地方買進みといふ程にあらざるも弗々望人あり且つ産地の高報と正米の喰がりに底堅く本日の出來は四平街十一月渡し一車十六圓七十錢長春新物十一月渡し産地積元山着十八圓五十錢海城十月渡し十八圓三十錢海城現物十八圓奉天現物十七圓十錢營口一車現物十八圓に出來せり

大豆弗々望取る

大豆は人氣行悩への模樣ありしも内地移出口其他の見込み賣拾ひに底意堅る喰かりにて本日は龍山新物十二月渡し二十四圓十錢長湍物龍山驛渡し二十四圓にて出來せり

仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仲買店 仁川海岸町三丁目 電話長一〇七・二六二・五五五

京城在庫穀物

十月一日より同十五日中の京城在庫穀物現在高左の如し

▲白米一、七〇六叺▲玄米一六、二六二叺▲大豆一三、九二〇叺▲粟五二、九三三袋▲麥二六、〇〇四叺▲小麥一七、九六六叺▲籾一八〇〇叺▲同白六、八〇四叺▲雜穀一六、〇〇〇叺▲綠豆六二一叺▲碎米九二六叺

右の内前月末に比して增減の主なる物は粟五千五百十九袋、小麥一萬四百餘叺增加し碎米千三百叺、大豆一萬二千叺の減少を示せり

仁川正米市場

期米の軟弱と外米代用制度廢止の電に當正米市場は一齊に買見送りの體にて人氣は一二錢安を唱へるゝも一面に代用廢止は鮮米に對する強材料として買方の策戰的行動もあり今午前中は更に商内行はれず大豆は相變らず人氣強硬にして産地出廻り薄に之又商内不進捗なり

釜山正米市場

内地期米の下押を報じて不振の狀態に陥り二三等正米の三等物は一五百叺許り出來大豆は新物は一四十四圓二三十錢安の三等物は二十四圓三十錢所古物は二三十錢高の二十三圓五十錢所にて二千叺出來したり（二十一日釜山）

各地正米相場

仁川	三等正米	四十三圓二十錢
釜山	三等正米	四十四圓五十錢
群山	三等正米	四十二圓八十錢
氣配持合		

燐寸輸出不振

燐寸は爲替關係著しく不利に陥りため一度方面より註文は全く杜絶し又南支方面も未だ讀賣の一掃せざれるため一時は西伯利方面の需要ありしため盛に荷捌けをしたりしが今は全然需要の聲なく北滿地方の需要は附近の工場の生産を以て優に充たし得る狀態なれば今後西伯利方面の買進みなき限り既往の如き好況を見ること到底望むべからず燐寸の原料及び工賃の劇騰並に軸木供給難等のため昨今安全五十七圓黄燐六十四圓と強保合を呈し居れり殊に黄燐は遠からず世界的に禁止せらるゝ運命にあるため一般に買惜み傾向にあれば更に高値に躍進すべき商勢なりと其製造工場に於ては印度南支向き專門的に生産せる向に於いては製品不況の結果休業狀態にあるもの少く又一般工場にありても殆ど多く一二月渡の大會社に限られ他は小口當用註文を有するもの極めて少く十二月渡を有するも亦例年なれば何れも明年一二月渡の註文あるに比し著しき不狀態に在る物と云ふべし

兩驛成績（仁川）

九月中に於ける仁川及び杻峴兩驛の運輸成績は著しく增加し仁川驛貨車收入の如き昨年九月二萬五千五百二十四圓なりしも、本年九月は實に倍加して五萬八千八百五十圓を算せり客車收入八千八百七十四圓にして合計六萬七千七百二十四圓乘車人員三千七百五十八人降車人員四千七百四十二人入場人員五千四百四十四人手小荷物發送九十三萬八千二斤到着九萬五千百十三萬八千二斤貨物發送二萬五千二百七十九噸到着七千四十六噸を算せり杻峴驛は總收入二萬一千八百二十一圓七十六錢內貨車收入八百四十九圓客車收入二萬九百七十三圓總計に於て八千六百八餘圓の激增を示せり乘客人員二萬二千八百人降車人員二萬五千八百四十人入場人員二千八百四十人手小荷物發送四萬三千七百斤到着四萬二千百斤貨物發送七百五十九噸到着八百八噸を算し何れも著しく增加を示せり

眼科専門 江頭眼科醫院 京城明治町東拓横（電話二〇四四番） 入院隨意 日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

株式會社野村商店代理事務 朝鮮中央鐵道 新株募集取扱所 御申込（十月二十五日迄）ニ付テハ至極御便宜ノ方法ヲ考案シ之カ金融立替等ハ特ニ御相談ニ可應候 有價證券現物問屋 株式會社野村商店代理店 京城本町貳丁目 田中友吉商店 電話長五八八、長九三八、三〇五四番 電信略號ケイジヨウタナカ 仁川本町 田中友吉仁川支店 電話七貳六番

赤樫 白留 福岡縣久留米市通町七 大城商店 電話四六五 振替福岡二〇七七番

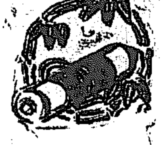
大日本優等清酒 ハクツル 白鶴 品質純良 衛生無害 製造元 攝津御影町 加納合名會社 發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替京城二四二二番

▲ストーブ 各種各寸法 ▲鴨 金 着荷 和洋金物商 京城本町三丁目 佐藤牛次郎商店 電話二四三番 振替口座京城一二〇番

和の旅行には特製鞄 和の旅行には東京製鞄 新荷着 岩田鞄店 京城本町三丁目 （電話九四四番）

株式會社 朝鮮殖産銀行 資本金壹千萬圓 京城府南大門通二丁目 頭取 三島太郎 年賦又は定期償還方法に依る貸金貸出の外一般銀行業並に貯蓄預金業務を取扱申候 電話長六〇一 營業振替貯金口座四〇九 道金庫振替貯金口座京城一〇三 支店及派出所 京畿道（仁川、水原、開城）忠清北道（清州、忠州）忠清南道（大田、論山、江景）全羅北道（全州、群山、裡里）全羅南道（光州、木浦、松汀里）慶尚北道（大邱、金泉）慶尚南道（晋州、馬山、統營）黄海道（海州、沙里院）平安南道（平壤、鎮南浦）平安北道（新義州、宣川）江原道（春川、元山里、咸興）咸鏡北道（淸津）右の外内外地銀行各地支那各地に爲替取引先有之候

[illegible]

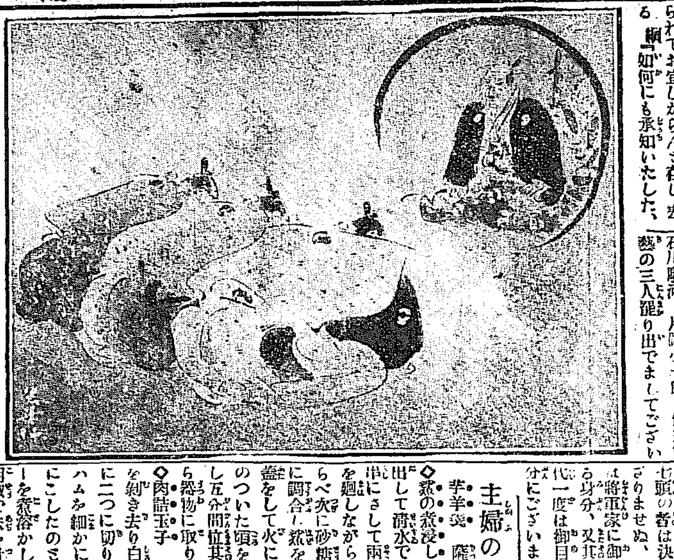


伊達騷動

第三十七席 小金井芦洲講演

酒井雅樂頭の難題

綱『予は悔悛いたしたに由つて立所に切腹を致して相果てる』安藝宗重容儀を正して席を進み安『アイヤ死は一旦にして易く生は萬代にして難し、君御後悔遊ばしますれば夫迄のことでございます、此上からは仙臺領總鎭守鹽釜大明神、鎌倉鶴ヶ岡八幡宮、瑞巖寺殿の尊靈にお誓ひあつて御酒を御止まりあらせられて然るべし、御家督の儀は御長子龜千代君を以て大公儀に願ひ出御仰せ付らるべく、君は品川袖ヶ崎下屋敷に御隱居あらせられてお宜しからんと存じ奉る』綱『如何にも承知いたした、



唯々宜しく頼み入る』三士『ハヽッ』三士は等しく頭をたげ綱宗公の御樣子を見れば落涙止めも敢ぬ態、御心の裡を察し參らすれば最ご御氣の毒にも思はれました是より直に品川の袖ヶ崎に對して御引移りになつて全く謹愼の態、改めて三人から致しまして御親類一統に對して御招き状を差出したから追々ご出府になる、爰に大評議を開いた結果は綱宗公御病身にして大國の政事を預る能はず、由つて隱居を願ひたい、家督の儀は仲龜千代を以て相續仰付らるゝやうこの儀を御親類差添へで大公儀に願つて出でました、デ大老老中若年寄御評定の上改めて寛文六年七月十八日御大老酒井雅樂頭殿から御奉書を以て石川駿河、片倉小十郎、伊達安藝の三人、明日朝四ッ半、大老役宅へ出頭いたすやうとの御沙汰、三人は翌日什麼を經へて大手下馬先御大老邸に罷り出で控への間に通つて休息、公用人の勅使河原三左衞門が夫れへ出で凡て執成いたして居ります、軈て御案内を致つて通りましたのが正面の處に席を設けて居ります、るのが世人下馬將軍と噂をする時の大老に酒井雅樂頭、廐橋の城主十四萬石酒井雅樂頭忠清、尊大なもので、お手廻りの御道具なぞ萬事善盡し美盡しでございます、公用人勅使河原三左衞門は遙か下つて送座をする、其の前の所に三人がツーと居流れる三『恐れながら申上げます、徐に御沙汰に相成りました伊達龜千代代、石川駿河、片岡小十郎、伊達安藝の三人罷り出でましてございますると三左衞門から斯く申入れることを聽て威儀を正した雅樂頭雅『オヽ左樣か、其方共は伊達龜千代一門の者ぢやな、此度願書を以て願ひ出でたる趣、大公儀においても格別の思召を以て、綱宗隱居龜千代家督相續の儀御聞届け下し置かれる、有難く相心得ますやうに』賤『ハヽッ』台命の如く有難く存じ奉りまする』忠『然れども勿論幼年の龜千代、大國の政事を掌ることは誠に難儀であらう。是に由つて一門伊達兵部少輔を以て萬代職仰付けられる、左樣心得られて宜しからう』『アッ』と云ふ石川、片倉、安藝の三人は暫しく顔と顔とを見合せてお答への儀に差支たのは、實にこれは意外のことで、各々方に何の打合せもしてなかつた、暫く立つて安藝が決と進み出でまして安『エヽ恐れながら仰にはござりますれ共陸奥守家の儀は未だ幼年なりとも今日まで萬代職を以て政事向き相勤め候先例御之無く、龜千代若年の故を以て御用向き相勤め難く又一國の政治如何との思召し之有候へば萬代職に代り伊達一門の重立ちましたる者十七頭にて然るべきやう致すべく、何卒右樣御指圖願上げ奉ります』忠『ホヽウ、如何樣尤ものやうではあるが萬代職を申付けると云ふのは其方共の願ひには一門重立ちたる者十七頭が指圖をいたすとのことであるが、一門の者は皆陪臣ぢや、陪臣にては大公儀直々の御用は相勤まらぬぞ、其故左樣申すのだ』片倉小十郎が傍から席を進め小『恐れながら仰せにはござりますれど、伊達家十七頭の者は決して陪臣にてはござりませぬ、手前は一年に一度は將軍家に御目通りの出來まする身分、又其外十六人の者は一代一度は御目通り叶ひまする身分にございます。』

書画用 絖絹
京染呉服商 たまや出張店 京城明治町二 電話一九六二

主婦の手帳より

芋羊羹・ 薩摩芋二百目の皮を

◇蕪の煮浸し 新しい蕪の臍を出して清水で洗ひ水氣を去つて串にさして兩面を程よく燒き串を廻しながら抜きとり敷笊にならべ次に砂糖、醬油、酒を等分に調合し蕪を蔽ふ位に入れ落し蓋をして火にかけて煮、よく味のついた頃を見計らつて鍋を下し五分間位其儘にして置いてから器物に取ります

◇肉詰玉子 玉子を能くゆで殻を剝き去り白味崩さぬやうに横に二つに切り中から黄味を出しハムを細かに切り黄味を絹越しにこしたのと混ぜ合せ別にバターを煮溶かして之をも加へ鹽こ胡椒で味を付け適當に丸めて前の白味の中に入れ切目を繼ぎ合せ中央に細いリボン又は綺麗な紙で皿に盛ます分量は玉子六個に對してバター大匙一杯、ハム十五匁、鹽胡椒適宜でハムにゆへるに同量の牛の舌のゆでたのでも宜しうございます

暦 十月廿四日

(金) 九月朔日 三碧暗劍東 ▲つちのとさり ▲先負 ▲觜

▼三碧▲用心堅固にすべき日也。
▼四綠▲何ごとなく嬉しき日にて心正しければ意外な幸ひ來らん。
▼五黄▲金錢に繋ある日なれど注意せざれば意外の損失あらん。
▼六白▲物事滑り勝の日なれど我儘すれば却つて意外の利有。
▼七赤▲兎角見掛け倒しの日也。
▼八白▲手違ひの起り易き日也。
▼九紫▲心を勞することある日なれど穏かに考ふれば通ずべし。
▼一白▲名譽ら揚がり願望ら叶ふ日なり但心不正なれば叶はず。
▼二黒▲名聲の揚がる事ある日なれど勝氣に乘じて妄進せば凶。

演藝案內

▲喜樂舘 本町一丁目 電話五九七番 有樂 當る十月十七日より提供特選映畫 ◎賀宮海上の漁業 ◎滑稽新子の君 ◎太利チペルフイルム會社特作映畫 ヘレンエスペリアナ夫人自身自演 奇印度 毒蜂 全六卷 原名『春の夜の怪事』 説明 石田旭花

▲五大力仙太 五千呎 近世人情噺の大家故圓朝得意の讀物

▲浪花舘 電話二六〇 當る十一日より毎日午後六時開演 東京落語研究會幹部春風亭柳窓一行 ▲落語 ▲落語音曲 ▲落語手踊 ▲娘義太夫 ▲落語ステヽコ ▲娘義太夫 ▲落語音曲 ▲人情噺扇子舞 ▲東京落語 春風亭柳窓 ▲大切喜劇

▲大正舘 櫻井町 電話八七三 當る十月十七日より特別大寫眞提供 日本活動寫眞會社代理店 ◎◎米國ルビン會社大傑作 人情活劇『ウルフ(狼)』全六卷 ◎劍劇 鉾植半九郎 全四卷

職業 特約店募集 近男女自宅ニテ出來 豊國商會 大阪天王寺大道一丁目三九一八

足踏式 石ロール付 豆腐製造機 説明書進呈 特約希望の方は至急申込乞 大阪清水谷公園南門 宅田商會

いやでも治る のん病七日藥 ◎◎◎漫性淋病 ◎◎◎女子淋病 ◎◎◎帶下 早く治る不思議の藥 大阪堺筋八幡筋北 山口藥院

御誂京染は拾月末迄に 御染物の激増は日を追つて其數を増し既に例年の幾層倍に登りました 押迫つて自然期日遲延等の事があつては只今より心配致します故年内に納めます御染物は特急品以外拾月末日迄の御注文を以て締切と致しました何卒此際至急御下命を願ひます 京染呉服 都染特約店 志らぎ屋 京城本町三 電話三〇六八

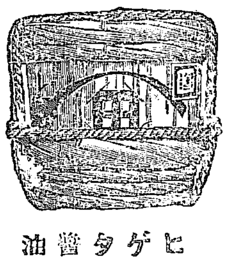
細羊講義錄 政府奬勵の細羊飼育法採毛法及其販賣 法等詳述す 詳細は申込次第 東京神田 畜産研究會

肺結核に カルチウム劑 吉澤氏複方カルチウム舍利別 吉澤氏カルチウム注射液 粒状純クロールカルチウム 滅菌ヨードカルチウム注射液 東京市京橋區中橋小路町 ラヂウム製藥株式會社 京都市烏丸通二條上ル西側 同 京都出張所

京城永樂町二丁目 酒井婦人病院 入院隨意 電話一八番 一六〇〇番 酒井一郎

醇美清酒 發賣元 ◎到る處酒店雜貨店に販賣せり 京城明治町二丁目 大塚合名會社京城支店 電話四〇一 振替京城五七〇 ◎滿鮮支店所在地 釜山、平壤、安東縣、大連

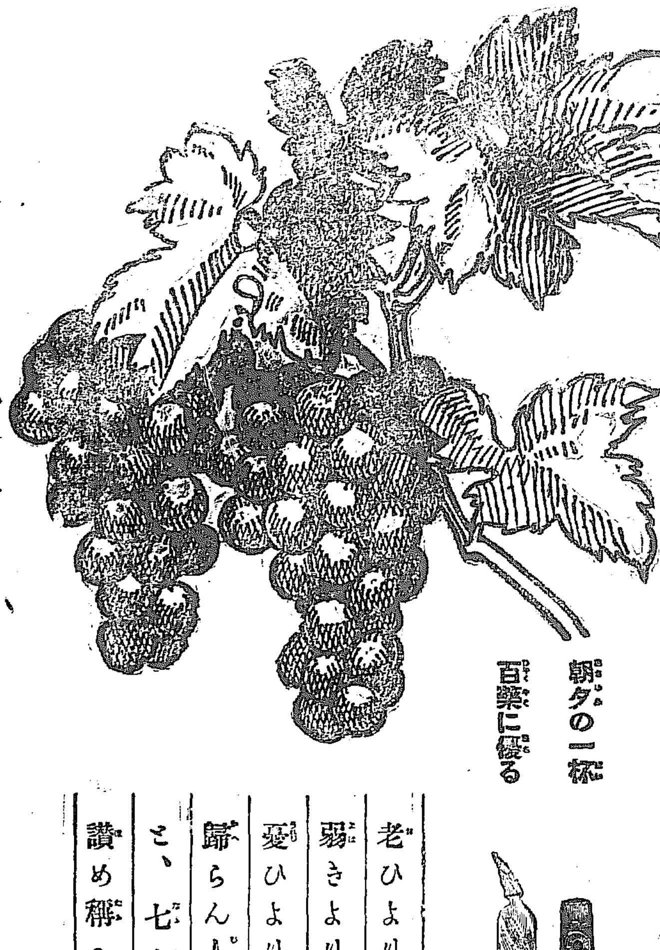
資本金 貳千貳百七拾萬圓 積立金 壹千六百貳拾萬圓 總預金 參億五千萬圓 株式會社第一銀行京城支店 支配人 竹村利三郎 頭取 佐々木勇之助

千葉縣銚子港 銚子醬油株式會社釀造 宮内省御用達 ヒゲタ醬油  代理店 京城明治町二丁目 山邑京城支店

淫羊藿エキス 人蔘三優ル强壯劑 主効 神經衰弱 貧血症 腎臓病 肝臓病 精力減退 本劑の服用に依りて貴下の精力は愈旺盛となり活動の能力は頓に增すべし

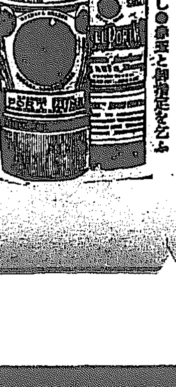
痔疾專門 京城久枝肛門病院 京城明治町二丁目(本町より入る中央) 電話二一〇二番

美味 滋養 葡萄酒 赤玉ポートワイン

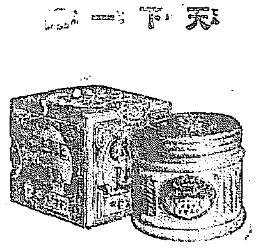


朝夕の一杯 百藥に優る

老ひより……若きに
弱きより……强きに
憂ひより……怡びに
歸らん人よ飲みたまへ
と、七人の博士だち
讃め稱へたる赤玉……



天下一品



新美膚料 クレームレート

◇お肌の荒れや日焦けを美事に止る……
◇お顔を眞から生々と若々しくする……
◇粉刷き化粧が最も美くしく出來る……

◇他にない特長
クレームレートは少しも厭な臭がせず。附けて直ぐ地肌に溶け込むで、皮膚の根本から美くしくする。

◇故に天下一品
美顔術が至極お手輕に出來、粉刷き化粧下として眞に美事なお化粧が出來る――(三越お化粧室にて實驗され居れり)

本舗 東京 大阪 平尾賛平商店

京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社 電話番號長六千九番 振替京城三〇二番
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介

娯樂世界 十一月号 秘密奇談

五人殺しの秘密
床の間の天井裏
棺桶の秘密
酌婦殺しの秘密
おや臍が無い
兵營内深夜の呻
お仙の秘密
厨子の秘密
窓越の銃聲
長篇小説 十字の入墨 江水
お杉殺し 春江
長篇小説 玉川御殿 前田曙山
大懸賞募集
祝言の落花狼藉 悟道軒圓玉
片羽鳥
一念
鶴御殿の遺恨
奇人度々平
紙幣の買入れ
鬼の面
和泉積の秘密
女房の秘密
雪の精
盲目掴き 西尾

定價金四拾五錢 送料二錢 東京府 娯樂世界社 振替東京三八四四番

測量學 速成講習録
新式通信教授を以て測量學の一般を授け…技師養成…通信生を募集す

聞け!警鐘第一聲

〈月給取の同盟勤惰〉
日本青年新發展地
衣・食・住・活・の根本的革新

諷刺 生活改造難 理學博士
鬼哭啾々 日本饑饉物語 横井春野
國民生活改造の曙光 法學博士
田園生活改造 減びんとする中農階級 現時局と青年團體改善 田園スケッチ
俸給生活改造 洋服貧民の為めに 噫!下級俸給生活者 俸給と物價奔騰

寸鐵 秋季増刊 生活改造
〈巻頭附圖 世界生活難圖(解説)〉
誰も氣づかぬ 新富源 新事業
都市と田園 各種理想的副業
新簡易生活の宣傳
貧乏の研究
銀閣物語 月待山
歴史新講 青木昆陽
社會生活哀話
賢者は辨當箱である 大鹽平八郎
歴史小説 田沼の没落
秘密政策 柴田傳之助
生活諷刺

東京市本石町 博文館

浪速式製縄機
說明書送呈
稻扱機 製縄機 製作所
此際特約應募者には特典種々 破格割引
大阪梅田新道西側 浪速商會

文藝講談界 十一月特別號 奇々怪々
古寺 秋の夜語 水野葉舟
怪異 狐使退治
大奥の怪火 本山荻舟
因果塚
女の刺客
去年今夜 大河内翠山
鳥有道人 如燕
不思議の人影 淀川鯉助
消燈喇叭
鼻利き
紅皿
伏姫
地獄の門
見たまゝ
毒薬の壺 北島春石
女太平記
山谷堀
大懸賞募集
金扇記 苦心の長篇大傑作
定價六十錢

正則英語學校講義錄
講義錄界の最高權威
監修=齋藤秀三郎
講師=正則英語學校講師
會期=一ヶ年
本校獨特の通信教授
東京神田三河町一丁目 正則英語學校 講義錄發行所
十四回學期新
會費
無代進呈

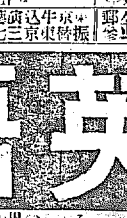
漱石全集 第二回豫約募集
日本が生める世界的文豪を永久に記念すべき一大金字塔

第一巻 吾輩は猫である
第二巻 短篇小説集
第三巻 虞美人草 坑夫
第四巻 三四郎 それから 門
第五巻 彼岸過迄 行人
第六巻 心 道草
第七巻 明暗
第八巻 文學論 文學評論
第九巻 小品 評論 雜篇
第十巻 初期の文章 詩歌俳句
第十一巻 日記及斷片
第十二巻 書簡集
第十三巻 續書簡集

我が漱石全集は讀書界の破天荒なる歡迎により て豫約出版界未曾有の盛況を呈し經濟界の大變動期中にありて今や幸福なる完成を感謝するの日に逢へり。唯だ世間從來の弊風を破りて天下に對する公約を守り斷じて締切期日を勵行したるが爲に甚深の遺憾を抱いて熱烈なる申込を拒絶するの止むなきに及びしもの無慮千に餘り爾來書を寄せて第二回の募集を促さるゝの士頻々として數ふるに堪ふ可からず。茲に改めて第二回の豫約募集を企畫するは實に江湖の懇切熾烈なる期待に報いんと欲するの微志に外ならず。漱石全集の價値は今贅せず、精神の糧、書齋の裝飾後世子孫への贈物たる可きものは獨り此全集あるのみ。天下の諸彥願くば此好機を逸して長しへに悔を貽すなからんことを。

申込期限 十月三十一日
體裁 菊判全十三册各巻平均八百四十七頁總頁數壹萬壹千拾六頁、用紙 三菱製紙白菱、印刷 築地活版 裝幀は故先生の意匠に依る天金総ボプリン製表紙は未販朱色手摺
略規 非賣品 豫約者のみに頒つものにして豫約外に販賣せず
申込金 三圓 (此申込金は最終の會費に繰入る)
會費 毎月拂 四圓 一時拂 四拾八圓五十錢
刊行 來る十二月より毎月一册宛十三ヶ月
內容見本及規定 申込次第進呈
申込所 東京市神田區南神保町 岩波書店 東京市日本橋區通四丁目 春陽堂 東京市日本橋區通一丁目 大倉書店

豫約元 東京市神田區南神保町 電話本局一一四〇・二六八八番 振替東京三八一五一番 岩波書店內 漱石全集刊行會



東京神田小川町 日本出版社 見本付カタログ進呈

堀井謄寫版

堀井を冠せるもの斯界の白眉なり
運動用具
京城南大門通二丁目 堀井謄寫堂京城出張所

算術工學
無料質問券附
…科學は學者のものでは無い…一分間でも早く…小學六年修業の人に容易く科學を教へて成功させます
專賣所 理化研究所 東京府下淀橋角筈一八二 振替東京三五五八八番

ライオン歯磨は
歯を完全に綺麗にします。
少くとも、一日に二回(朝と夜)歯をお磨きなさい。
——さうすれば——
貴方の歯は決して齲歯に罹りません。

ライオン歯磨本舗 小林商店

露都陷落說疑し
過激派政府沒落近からん

過激派政府の沒落近きに迫れりと信ぜらる デキニン軍は莫斯科に向け引續き進擊中なり又露國西北軍はペトログラードを占領したりとの風說あり然れども過激派は尚ペトログラードより無線電信を發しつゝあり(倫敦電報)

別報

米國々務省に達せる諸電報に據ればペトログラードは反過激派軍の爲占領されたりとの事なるも英國陸軍省には未だ然る報道到着せずと(華盛頓電報)

獨軍監視者派遣

獨軍撤退監視の爲最高會議はマンジャン將軍を派遣せり(巴里電報)

伊批准書巴里著

伊國外相は伊國皇帝の條約批准書を携帶巴里に著せり(巴里電報)

ク氏政綱演說

佛國首相クレマンソー氏は十一月上旬選擧前政綱に就き演說すべし(巴里電報)

修正全部否決か

元老院は歐洲戰時賠償委員會中に米國の參加を禁止す可く共和黨議員フオール氏が提出したる二箇の修正案を否決し右採決は新聞紙に載せず凡ての條約修正案は保留を爲さんとする大運動を遂行する爲め否決せらる可しとの說あり(華盛頓電報)

オ政府武器供給問題

オムスク政府に對する武器供給問題は近く具體的に發表さるべし(東京電報)

オ政府借款受渡

オムスク政府對鮮銀正金兩銀行の間に成立せる二千萬圓借款は二十二日受渡しを爲す筈なり(東京電報)

米無線電信計畫

米國政府は米支貿易增進の目的を以て上海に無線電信設置の計畫ありとの說あり(香港電報)

幣制借款延期

幣制借款は去る十四日にて期限滿了したれば更に半年延期に決せり(北京電報)

セ軍蒙古侵入問題

オムスク駐在支那總領事は十七日附外交部に宛セミヨノフ軍隊の蒙古入りに就きオムスク政府に抗議せしにオ政府は米國委員の注意に由りセミヨノフ將軍に對し恣に行動せざらん事を命じたりと回答したる旨報告し來れり依て支那政府は東三省督軍に急電し此旨を含みセミヨノフに對す可しと訓令せり(北京電報)

唐代表辭意固し

南方總代表唐紹儀氏は辭意堅く各方面の勸誘を拒絕しつゝあり(上海電報)

伍總裁亦辭せん

伍廷芳氏は唐紹儀氏が總代表を辭せば己も政務總裁を辭す可き旨語れり(北京電報)

廣東國會消滅計畫

廣東政學會は廣東國會を消滅せしむる計畫を進めつゝあり(上海電報)

條約實施協議

二十一日外交調查會を開き講和條約實施準備に就き協議する所ありたり(東京電報)

興銀債券發行

日本興業銀行にては近く五百萬圓の債券を發行するに決せり(東京電報)

杉山總長動靜 杉山鐵道總務長は夫人同伴二十二日午後七時四十分著列車にて來釜直ちに東萊に赴きたるが二十三日朝出港連絡船にて內地に向ふ筈(釜山特電)

不景氣を望む
大阪支局 護山生

◎物價の騰貴は其の反面に於て貨幣の低落を表示せるものにして其結果通貨に權利を有するものは損失となり物貨に權利を有するものは利益を獲得する者にして俸給賃金生活者の如きは必然の歸結として益々生活の困難に陷りこれに反して資本家は巨額の利益を占むるに至りて物價騰貴の爲め貧富懸隔は頗る明瞭となれり

◎貧富兩者の中間に介在する所謂中產階級者が貧富兩者の協調を保ち社會の調和を計れば邦家をして泰山の安きに置くを得べきも今や高潮せる物價昂騰には中產階級も亦生活の爲めに其家計は不文律となり遠からず無產階級に墮落されんとするの危機に瀕し居れり今にして之が救濟の途を講じ物價の調節を計らざれば必ずや其因つて來る處の結論は寒心に堪へざるものあらん

◎現內閣が物價騰貴せるは通貨の膨脹に基因せずして好景氣なるが爲めなりと稱せるが果して然らば好景氣とは抑も何を指すものなりや畢竟一般國民の所持せる資中に於ける通貨力多額なるに外ならずして好景氣とは通貨の膨脹なるを疑はず然も通貨の膨脹は物價に關係なしと云ふに至つては世人を愚弄するも亦甚だしき謬論の極と云ふべし

朝鮮鑛業救濟策(一)
鑛業家有志より其筋へ申請

朝鮮に於ける鑛業界は時局の影響を受け甚だ不振の狀態に在り當業者は此の狀態を以てしては到底事業を繼續する能はずとし有志者協議の結果鑛業從業者の最も苦痛とする諸點を列擧し齋藤總督に宛て朝鮮鑛業救濟に關する申請書を提出すると共に原勝一、原田信三、西崎鶴太郎、津田鐵雄、中川湊、野附勤一郎、松井民次郎、小瀧元司、吳尙胜の數氏は十九日水野政務總監を訪問し更に西村殖產局長及川崎鑛務課長等とも會見陳情の趣旨を敷衍し當局に於て相當考慮を煩はれんことを希望せるが水野政務總監も朝鮮鑛業界に於ける重要問題とし相當考究の上適當の施設を講ぜん意嚮を漏らせりと當局に提出せる申請書は左の十箇條なり

一、鑛業令第四十一條中に許可後滿三年間鑛區稅を三分の一に減ずるの規程を設けられたきこと

(理由)凡そ鑛業の出願を爲すものは大體に於て一定の鑛床內に或程度鑛物の存在することを豫測するものなれども外見と鑛床とは常に相違すること多し故に先づ事業著手の當初に於て專ら探鑛に從事し探鑛の適否を決定するは事業の實質性を認め內地鑛業法が試掘制度を認める所以も亦之に外ならざるべし然るに朝鮮鑛業令が此有効なる探鑛期間を認めず鑛業權の取得と同時に直に採掘稅を課せらるゝが如きは甚だ酷にして且つ著しく實情に適應せざるものと謂はざるべからず之れを朝鮮と比較し其の富の程度及鑛業の進步遙に優越せる內地に於て猶ほ試掘制度を存置したるに拘らず未だ內地に比して其の程度著しく輕く鑛業資金は豐富ならず斯業の發達極めて幼稚なる朝鮮に於て該制度を認めず探鑛の適否未知の鑛業に對し直に一千坪に付六十錢の鑛區稅を課するが如きは內地法との均衡を失すると謂はざるべからず之れ斯業の發達を促進する所以にあらずと信ず。仍て試驗制度を認めざる朝鮮に於ては斯業の保護獎勵上より許可後滿三年間の鑛區に對して之れが鑛區稅額の三分一を限度として之を課せられむ事を希望す

二、鑛產稅及び鑛業用品の輸移入稅を全廢せられたきこと

(理由)朝鮮に於ける鑛產稅の廢止は當業者多年の要望なりしが當局遂に其の要望の一部を容れられ爰に金、銀、鉛、鐵、砂金及び砂鐵に對し該稅の撤廢を實行せられたり、而して又鑛業用品の輸移入稅に在りても爰に金、銀、鉛及び鐵に對しては免稅せられたるも現下不振の域に沈湎せる斯業保護の一策として來る大正九年度より孰れも之を全廢せられむことを希望す

一、鑛業令第五十八條の規定に依り鑛業の出願を許可せざる地域を開放せられたきこと

(理由)朝鮮鑛業令第五十八條の規定に依り慶尙北道尙州郡、咸鏡南道咸興郡同新興郡、平安南道价川郡の各一部及び大同郡順川郡は出願禁止區域として絕對に鑛業の出願を拒否せらる、而して當局に於ては如上禁止區域に亘り鋭意探鑛の步を進められつゝありと聞くも斯業の大勢より洞察し寧ろ鑛業家をして之が經營に當らしむるを策の得たるものなるを確信す、殊に平安南道順川价川及び大同三郡の禁止區域に存する豐富なる無煙炭は工業用及び一般の燃料問題に苦慮しつゝある現下の朝鮮に於て一日も速に之が開掘を期するの要ありと認む若し夫れ右禁止區域全部に涉りて之が開放を爲す事の至難なる事情の存するあらば當局は宜しく其の區域を限定して速に之が開放を實行せられむ事を切望す

一、鑛業令第九條第一項を適用せる地域及び鑛物を撤廢せられたきこと

(理由)朝鮮鑛業令に於ては原則として鑛業の先願權を認めある大正五年二月告示第三十七號に依りて先願權を認めざる多くの地域を存置せられたるは斯業の發達上頗る遺憾とする所なり、素より當時に於ては斯かる除外例を設けらるるの必要ありしならむも今日に於ては之を撤廢せらるるも何等の支障なきを信ずるのみならず殊更に此種の特例を設くるが如きは還つて企業心を阻止し斯業の發達を促進する所以に非ざるべし、速に之が撤廢を望む

一、未許可に屬する鑛業出願地圖面の閲覽を許可せられたきこと

(理由)現行法に於ては鑛業出願地圖面の閲覽に關する規定なく鑛業許可となりて登錄せるものに限り閲覽を許可することとなり居れり、蓋し立法の趣旨は出願中に係る圖面の閲覽を許すときは其間種々の弊害を釀成すべきを想像したるものの如し、然れども現行朝鮮鑛業令第九條第一項前段に依れば同一の鑛物に付鑛業出願地の重複するときは其の重複する部分に付ては願書到達の日の先なるものに鑛業を許可することとあるを以て如上の如き弊害を生ずるの虞なしと謂はざるべからざるのみならず實際に於て出願者に對し圖面の閲覽を許すときは却て隣地又は附近出願者に於て己に他人の出願せる地域なることを確知し得るを以て重複出願の如き徒に勞を省き且つ回避し得べく尙出願者は自己の權利擁護上提出圖面の正確ならむことを期するを以て監督局處理の煩累を省き得るの利益あるべきを以て之が閲覽を許可せられむことを望む

天津財界近狀

一時下押したる倫敦銀塊相場も新給伴なはず大勢益々銀の缺乏を訴ふるにより再び擡頭し十二日には六十一片を突破し二十一日六十二片二十五仙六十三片と稱し二十六日には更に

六十二片

八分の三と云ふ空前の高値を唱へ底止する所を知らざりしが月末六十二片八分の五を以て終れり而して英米向爲替相場も月初め倫敦向き六十二分の一紐育向き十二、四より逐日昂騰を續け二十七日の倫敦向六、七十四分の一紐育向の一三九を最高とし月末稍軟弱となり從つて三十八兩を以て始まりたる日本向き相場も此趨勢に押され低落を見つゝも尙急激の足どりを示さざりしが下旬に入りてより速度を加へ二十二日三十六兩臺二十五日三十六兩臺を割り廿七日卅五兩四分の一三三氣配迄に落込みたるが其の後幾分反撥し三十六兩丁度を唱へて越月せり輸出方面は後記の如く益々逆調を呈せるを以て商談出合はず月央後となりても例年の如き活況を呈するに至らず棉花の如き出廻り期に入りたるにも拘らず積荷捗々しからず相場安値保合にて西河新棉二十四兩半處なり

輸入方面

は引續き閑散…内地上海青島方面の先物強調に伴れ相場何れも二三兩方引締りたり此等の手合せは多く正月二月物にして內地生產減在荷薄の爲明近物の取引は依然として不振の狀況にあり金融は益々逼迫を告げ殊に月末に近づくに從つて舊曆八月十五日支那商側の總決算期に差し迫り銀貨の拂底愈々甚だしく各銀行共英米向きの賣手のみにて買手更になく何れも手許極度の逼迫裡に越月せり因に本月當港に於ける重要輸出入品の數量を擧ぐれば左の如し

輸出

品名	單位		
豆類	擔	[illegible]	[illegible]
雜穀	同	[illegible]	[illegible]
棉花	同	[illegible]	[illegible]
羊皮	枚	[illegible]	[illegible]
羊毛	擔	[illegible]	[illegible]

輸入

品名	單位		
綿布	反	[illegible]	[illegible]
綿糸	擔	[illegible]	[illegible]
砂糖	同	[illegible]	[illegible]
燐寸	箱	[illegible]	[illegible]
石油	瓦	[illegible]	[illegible]

鮮鐵荷動概況(下)
石炭穀類鐵石類の出荷增加 收入前年に比し六割二分減

●雜穀● 九月中の發送數量は一萬三千五百二十三噸にして前月に比し約一千噸の大減を示せり然れども是は前月に於ては中旬より月末迄滿洲粟の運貨五割引の爲優先輸送をなしたるに因るものにして之を前年度に比するときは殆んど十割の激增に當れり如上米價の昂騰と內地の飢饉に依り之が代用食料として又內鮮の北鮮に於ける本年度の大旱の爲に米穀の收穫見込より滿洲粟の輸入多く尙ほ南鮮より大麥小麥の出荷活潑なり其の主因にして發驛として は安東新義州發粟二千五百噸南大門發粟二千五百五十噸仁川發八百噸等は釜山桟橋等發多く京驛として は元山、釜山を最とし殆んど鮮內各港へ分布せられ又內地行は小豆の出荷減退により小量に過ぎず

●豆粕● 前月來內地商人の買付申込多く生產筋は其の契約多量に上り尙ほ向後の輸送難を考慮し本月に入りて幾分買手控への氣味に買手は益々焦り氣味にて高值を唱へ而も原料大豆の品騰に相場は次第に强硬を示すに至り取引活況を呈せり即ち本月の輸送數量は前肥の通り五千二百餘噸にして前年度に比し倍加せり全部安東發にして又殆んど內地直通扱とす

●石材● 一般土木建築界の活躍により秋風嶺、議政府、始興等發多く加ふるに鶏井發南大門其他著石粉原料一千噸に達し尙ほ勝湖里發兼二浦製鐵所用石灰石又七百噸に上り荷動き好況を呈せり

●金物類● 兼二浦三菱製鐵所製品の滿洲方面輸出好況を呈し尙ほ一般工業界の殷賑に仁川釜山等經由諸材の搬入多く又鎭南浦發久原製鍊所製品の內地行相應あり前月に比し約一千噸を增加せり

●牛● 大旱魃の爲め飼養困難の豫想より放賣するもの多く爲めに前月初頭一時殆んど六割方の暴落を示したりしも共の後稍に復し尙ほ本月に入りて相場頗に引締り氣配にて內地商人の買付盛に行はれ取引活氣を呈し總數殆七千六百餘頭に達するの從來其の比を見ざる輸送繁盛を極めたり發驛としては廣川、鐵原最も多く平壤、新安州、定州、新義州、汗浦は其の主なるものにして六割は釜山浦四割は木浦經由とす本月の總數量は三千四百七十七頭にして前年度に比し十三割の增加を示せり而して前年度に於ては東京特別輸送のため一般輸送は多大の打擊を受けたりと雖本品の如き生活必需品は特に優先輸送をなしたるにより影響少なく全く前記增加は冬季に於ける輸送難を虞れ且つ漸々價格の昂騰に大い商人の買付盛んなりしに因るものと云ふを得べし

●肥料● 前月に引續き稀の內地移出盛況にして總數量二千五百五十六噸を算せり安東、新義州、鎭南浦、平壤、南大門、龍山、群山、仁川、大田は其の發驛の主なるものにして大部分東海道行なりとす

●繩叺● 南鮮穀類の出荷旺盛なるに伴ひ本品の需要又著しく增加したり殊に米鮮內に於ても當局の自作自給獎勵に依り本品の生產尠からざるも鮮內各地に於ける輸移出穀類の包裝資材なりて優良なる內地品の搬入を促進するに至り荷動き增加せり各港地發多く鮮內產として は鳥山、伊院、群山、松汀里、榮山浦等發を主なるものとす

旅大急行列車

旅順大連間には來る十二月一日より急行列車を運轉する事に決定し此程試運轉を實施せしが更に兩地間の一時間最大急行車の試運轉の結果により十二月一日以後は每日旅順を起點として一往復を行ひ其他は一時間十二分の普通急行車を運轉する筈なりと(大連)

機關車到著期

滿鐵京管局より米國に註文中なりしミカド型熱式蒸汽機關車十二臺は去る九月六日日本郵船常磐丸紐育に於て之を積取り目下歸航中なるが來る二十七日釜山入港揚陸すべく價額は一臺約十三萬圓なりと

秋日所感 神谷 春湖

火雲鎖盡起金風。漸覺檣端涼氣通。遠樹依稀猶帶綠。幽花隱落、慾消紅。數行雁陣橫霜、盡、騷病翁。逝水年華雖可惜。收藏有序自成功。

人事消息

▲木山大餘社長 金剛山視察中なりしが二十一日夜歸城二十四日午前十時南大門驛發歸阪すべしと
▲卜部保安課長 二十二日朝出發湖南沿線に於ける檢疫狀況視察の爲め往復三日間の豫定にて出張せり
▲丹羽淸次郎氏(基督青年會總務) 二十三日夜內地へ

鳥瞰錄

▲大連で梁山伯を極め込んで居た中西滿鐵社長も妻君を伴れて行ては黑旋風や魯智深も集められまいと案じてゐたが松本理事や片山理事は妻君に遠慮どころか「奥さん一杯出した!」と却て猛烈するだらうとの事だ
▲中西君の腕の冴ゑは頗る恐しく誰にでも議論を吹きかけ時に依ると怒鳴散らす代り直肥ッ腹を見せるのでさしも沈滯してゐた社內の空氣も一掃さ…
▲何でも防疫委員に對しては最も盛んに叱り付けた爲め近く十萬圓の慰勞金を分配するとの事だ朝鮮でも中西式を遣つたらうか
▲滿鐵では運賃改正の結果二千五百萬圓の增收になるさうだ是を社員の增俸に割當てるのだそうだが夫でも五割增した位にしかならぬと云ふ
▲中西君は下級者に厚くして約八割の增給を計畫し日下財源を他に見出し、ゐるさうな
▲而も來月から購買組合を設け社員に對しては極めて安く物資を供給するとの事
▲滿鐵社員の增給は一夜にして滿洲の物價を昂騰せしめたものだが購買組合が設けられては さうもなるまい京管局でも增給の前龍山の物價値上防止法を講じたらどうだ

旱害輕減指示

松本京畿道第二部長は二十二日金融組合長會議に於て旱害に關し左の如く指示する所ありたり

本年は管內稀有の旱害を被りたる地方鮮しとせざるを以て組合は克く組合員を救濟すると共に多少なりとも此災害を輕減するに全力を盡し組合業務の確實なる進展を期せざるべからず而して左記各項に付ては特に留意せらるゝの要あるものとす

(一)組合員中組合債務の辨償難を訴ふる者あるべし然れども徒らに因作に名を假り返濟を怠るか如きことなき様注意すること

(二)因作の爲組合員耕作地家畜其の他の財產を放賣し又は不利の金借を爲す者あり是れ高利の借入を爲す者は良く本人を說諭して可成組合より融通を受けしめ決して其の自作地を手離すが如きことなき樣注意すること

(三)此の際各員何れも多少の勞働を厭はず其の地方の事情に適する副業に勵精し幾分にても生計の資を補足するを努むること

近年漸く民間の所得激增したるに伴ひ多く奢侈贅澤に流れたるの傾なしとせず本年の災害に際しては尙低利資金の融通等有利なる組合員の生活を改めて奢侈に耽り贅澤に流るゝ者は低利資金の融通より組合員の將來を與する所以に於て深く此点に留意せしむべき故に組合員をして非常災害に處するの覺悟を爲さしめ生業に勵み支出を嚴節せしむると共に資金の使途を誤らしめざる樣指導に注意をなすこと

標準叺審査

鮮內各道の標準叺選出に就ては過般全南慶尙南道が提案したる島栖縣師藥山浦に出張して鑑選叺に就て斤量繩締等に亘つて嚴しく調査中なり

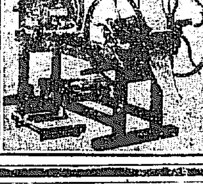
緩言急語(五)
朝鮮時局我觀(其一)
代議士 井上角五郎氏談

◇私は古から朝鮮に關係して居る。半分朝鮮人と言てもよい位だ。這度渡鮮してからも各方面の人々と出來得るだけ隔意なき意見の交換もした。私は現在の朝鮮に對しては大體次の如き觀測をしてゐる。今日はお互に或る程度まで打開けた話をしてお互に研究した方がよからうと思ふから赤裸々に言ふ。で先づ私に言はせると所謂獨立運動は已に今日勢力を失して居る。但し從來の制度、行り口の或る部分を改めて貰ひたいといふ考へは一層激しくなつた。此の點で朝鮮人は今の內閣に非常な希望を屬してるものと私は見た。その希望の一部分は結局容れてやらなければ面白くないことになるだらう、何の希望を容れるかに就て愼重なる調査を要する次第である

◇私が六月朝鮮に行つた時は朝鮮人が訪ねて來ても總督府の行方に對しては不平なぞは殆ど言ひ得ない、言つても憚つてコソ／＼言ふといふ有樣であつた。ところが九月に行つた時は盛んに議論をし、所謂處士橫議の態をなした。彼の助に任んでる內地人に會つて聞くと近頃では朝鮮人は頗る傲慢になつて、道を步いてゐて會つても道を讓らうとせぬ。釜山附近で道路工事に夫役を課したところ從來は穩かに服從したが八月九月頃になると陳情委員を京城へ出すといふ樣に何でも願へば許される、駄々を捏ねたら通るといふ念を生じた。此の現象は悲觀す可きか樂觀す可きかといふ事に就て各階級に就て調査して見た。(續く＝東京支局)

東京株式 (二十二日前場)…
東京現株 …
下關期米特電 …
二十二日後場… 寄付 高值 安值 三九、七〇 三九、三〇
仁川期米 …

專賣特許 八谷式製繩機



新案特許 眞崎式素麵機

特許諸機械製作 朝鮮大田本町二丁目 眞崎大田出張所 振替京城六二六七番 ▲特約店募集▼

繩叺商 大田府本町 東屋商會

昇新刊

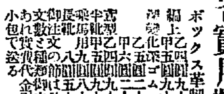
書名	著者	定價	送料
全鮮銀行會社職員錄 大正八年九月現在		八五	二六
日本改造の意義及綱領	加藤武雄	一、五〇	一二
金になる土の話	秋本…	二、〇〇	八
人格と修養	井上	一、五〇	八
電光石火	岩谷	一、五〇	六
勞働者問題		一、八〇	八
西亞の秘密結社		一、七〇	八
歐洲文藝史論	上村	三、五〇	一二
國論七年	坂垣日助	二、五〇	八
和譯聯合國際	粟山	二、〇〇	八
社會悲劇論	鵜人公論社	六〇	六
浪人著 裏と表		一圓八十錢	十式
品梅肥	大島友直	一、八〇	八
出稼入大明細 朝鮮大地圖		折特 二、五〇	
救急法			

京城本町一丁目 **大阪屋號** 振替京城二五七番 電話…

拾得金公告

一金參拾圓也外壹點
右ハ十月十七日拾得屆出アリ必當リノ者ハ申出ラルベシ
京城 本町警察署

丈夫で安い實用靴



ボックス革製 編上 甲乙 …
東京牛込 御軍用 ツブク靴店 振替東京四一八八四番

鮮滿遞信局 購買 競爭入札 一、受領手續…詳細十月廿三日本府官報ニ在リ

永久的 新事業教授 僅か壹圓の資本でもスグ其日より意外の金儲が出來る
工藝薬品製造秘法公開 男女誰でも自宅にてスグ開業出來る ハガキで申込次第案內書進呈
東京本郷區曙町日本通信藥學校

胃腸藥之霸王

ゴルフ

效能の卓絕なるを以て實行飛ぶが如し
惡疫の豫防にゴルフ
胃腸にゴルフ
飲過食過ぎにゴルフ
食後にゴルフ
病後にゴルフ

な程よくきく

改正定價 三十五錢 七十錢 一圓八十錢

東京室町三丁目 參昌製藥株式會社

全國藥店にあり

◆愈大轉換の期米◆

愈政府が寶刀の鯉口を寬げ各地市場の觀察を了し以て此が大英斷を下さんとす、外米建擬勝敗、第六回格安大口拂下あり然而大豐作の內地米は賣物輻湊し日々の下落を見つゝあり機は今也速に弊會の陣頭に馳られむ事を
◆申込期間十一月二日◆加入金一口五十圓(代用證券時價八掛)
大阪市北區堂島北町四(中町停留所北四側)日本債券合資會社內
㊄ 期米賣相互會
●會則說明書贈呈
電北一貳三九番 振大五〇一〇二番

鎭靜催眠劑

臨床實驗
醫學博士 山田鐵藏氏
醫學博士 佐藤四郎氏
醫學士 荒井恒雄氏
醫學士 小川六三郎氏
醫學士 吳島隆輔氏
醫學士 橋爪鹿行氏
醫學士 佐藤惇一氏
外數氏の臨床的報文を有す。別冊あり御請求を…

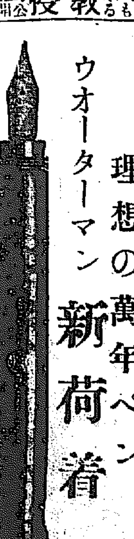
カルモチン

(特長)全然無害(普通藥に屬す)にして持久する胃障害其他の副作用なく又習慣性なし。
(適應症)神經衰弱、ヒステリー、神經性不眠、脫眠困難、常習性頭痛、肺結核患者の亢奮狀態、嘔吐、船醉豫防等
(包裝)粉末二十五瓦入(金四圓)十瓦入(金一圓七十五錢)錠劑十五錠入(金八十五錢)五十錠入(金貳圓五十五錢)(外に錠劑百錠入百五十瓦入あり)

發賣元 大阪市東區道修町 武田長兵衞商店

理想の萬年ペン 新荷着

ウオーターマン 四十一號 六圓五十錢
セエフチー 七百四十二號 八圓五十錢
安全萬年ペン 十八金 …



萬年ペンカタログ申込次第進呈

京城本町 篠崎文具店

有難き大御心
軍人一般の給養狀態に就き御下問あらせらる

二十二日午前十一時半　天皇陛下には特に田中陸相を御前に召させられ目下物價騰貴の折柄軍人一般の給養は如何なる狀態にありやとの畏れ多き御下問あり陸相は恐懼措く能はず畏みて現役豫後備役並に傷病兵等の現狀に就き委曲奏上するところありしに　陛下には逐一御聽取あらせられたり(東京特電)

重態前の容態に復す
元氣加はれる寺内伯
朝來顏色を眺めつゝ食事も美味いとて多量に攝取す
歡喜に輝やく伯爵邸

二十日正午前後危篤に陷りたる寺内元帥の症狀は奇蹟の如く其後漸次持直し廿一日は閑院宮殿下より賜りたる西瓜にてアイスクリームを造らせ食したるが其頃より排尿甚だしく

意識明瞭 となり大觀山の秋の夜は星なく雲低きも伯邸の灯影殊に華やかに近侍の人々の邪やかなる笑ひ聲にも歡喜の氣張れり此の夕伯は浮腫減じて顏色も常に復し邸内常侍の人々二三を枕頭に招きて其一身上の事に何呉れと細やかき注意を爲し尚宮殿下の御見舞に取急ぎ御禮を申す可きを命じたる上『余は病床に在りて陛下に相濟まざる次第なれども譯一(嗣子大佐)が軍務に服し居れるを以て安心なり』など語り言語も頗る明晰なるより近侍の人々も漸く安心の胸を撫で階上の寢室なる夫人たき子の方も自らの病を忘れて夫君の容態を案じ居たるが階下の笑ひ聲に心を留て伯の病の直れるを察し安心したり……の笑を洩らせり、兒玉伯ら晩餐の膳に著きて『初めて飯が旨く食へる』とて同夫人さく子、一大佐、毅雄中尉、錦夫人、須惠子(寺内伯四女)其他近親の人々と共に

愁眉を開き 笑聲歡語久振りにて連夜殆んど不眠の身を安心の裡に熟睡したり同夜病伯は殆んど安眠を續けられ胸部の苦悶薄らぎ呼吸の不整減少し全身の浮腫も減退し廿二日午前六時頃目覺められたる時は元氣殊の外にて脈搏の力も加り意識明瞭にて重態前の容態に復し午前七時菅野軍醫正診察の際は溫度三十六度六分。脈搏百。呼吸二十を算し朝露を含める後庭のダリヤの色鮮かなるを眺めつゝ朝餐も美味いとて多量に攝取し久しく用ひられざりし葡萄酒をさへ飲用し尚午前十時迄に牛乳、卵豆腐、スープ等を攝られたり(大磯特電)

奇蹟と云ふ外無し
＝兒玉伯爵の談

寺内伯の經過に就き兒玉伯は訪客に對し次の如く語りたり(大磯特電)

今回の經過は眞に奇蹟と言ふの他なし今朝(廿二日)の如き全く談話も顏色も平生の通りなり一時危篤を傳へられたるは無理なきところにて心臟病の經過に就きては醫師も豫想出來ざるものなりと聞けば主治醫として出來得る丈けの用意を爲したるは最もの事なる可し伯は今朝久し振りにて葡萄酒を用ひたり伯は常々葡萄酒通を以て任じ居れるが今朝のはシヤトラ、フイラツトなりとて頗る滿足の體なりき此分にては或は安心す可き經過を辿るならんと思はる、朝鮮方面の……

見舞電報

諸君より多數の御見舞電報に接し感謝に堪へず幸ひに貴紙を通じ諸君の安心せらるゝやう傳へられん事を……

山の如し
忙しき伯爵家

寺内伯の瀕死の狀態に入れる報傳はるや全國各地より弔詞、見舞電報の來るもの山の如く伯爵家にては其整理に忙殺せられつゝあるが中には端書にて『元帥の今日あるはアイスクリームの攝取量多き爲めなりと信ず國家の爲更に十年の長壽を冀ひ居りしに此事あらば遺憾堪へず』と憤慨の情を主治醫に漏らせるあり元帥重態が如何に人心を刺戟せしかを見る可し(大磯特電)

小言が出たから安心
病勢が減退した證據だと病床を見舞つた三浦子語る

寺内伯の容態は二十一日朝來稍持直したことゝて家人知友の人々は稍愁眉を開いて居る。午後一時頃同邸を見舞つた三浦梧樓子も此の朝伯の病床に入つて來た二男毅雄氏を顧み『お前は何故此處に居るか』と小言を云つたと云ふことを聞き『寺内が小言を云ふ樣になれば占めたものだ、寺内に小言は附き物だ』

今迄小言を 云はなかつたのは病氣の爲であつたのだ小言をボツ〳〵云はれる樣になつたと云ふことは病氣が幾分退いた證據だ』と非常に喜んで見舞た。某醫學者は語る伯の容態は今朝多量の排尿があつたので大變快くなつて來た。頭腦も明晰になつて來て食慾も進みつゝある恰度閑院宮殿下から御見舞として西瓜を賜はつたので其れを伯に告げると『夫れは難有い早速アイスクリームにして吳れ』と云ふ、お盥には此のアイスクリームを三杯攝つた、其の外牛乳も取り更に飯を持つて來いと云ふ有樣であつた。さうして『西瓜は宮樣から下さつたのであるから大切にしなければならない』と注意するなど伯の持前の小言がチヨイ〳〵出る

病室を見廻 して屏風の立てたり色々のものが病室の周圍にあつたので『何故斯んなものを置いてあるか』と附き添ひの小山看護婦に命じて屏風其の他のものを片附けさせるやら閉ち切つた障子を開けさせるやら此の樣子を見ると素人考へでは殆んど常態に復して居るとも見られる位である。看護に詰めて居た家人其他も一寸ゆつくり休養することゝなり唯看護婦と二三の人が病床に詰め切つて居るだけである

吉本博士も 今夜あたり來ると云つて今朝歸京して行つた。全然安心するとは出來ないが此の樣子では若しかすると持ち直すかも知れない、家人は一縷の望みを繋いで居る云々(大磯電報)

明石總督
依然重態

明石臺灣總督は依然昏睡狀態にあり症狀憂ふ可きものあるが如し(下關電報)

痛哭團
滑稽極まる不逞漢の計畫

不逞鮮人の所謂獨立運動なるものは示威運動とか商店の門戶閉鎖とか各種の惡擧となつて現はれてゐるが嚴且つ周密なる警察の威力下には殆んど總ての企畫が根底から覆へされるので今は唯悲嘆すべき方法を發見した狀態なので今回彼等は所謂國民痛哭團と稱する團體を作つた其方法は來る十一月七日の午砲を相圖に全鮮の朝鮮人は一齊に天を仰ぎ地に俯して慟哭し以て獨立の示威運動に換やうと云ふのである如何なる愚民でも斯んな莫迦〳〵しい眞似は出來なからう

解し兼ぬる面長の行動
二十名同盟して會議に臨まず

慶尙南道密陽郡にては管内各面長を此程郡廳に召集し面長會議を開かんとせし處召集に應じて出頭せる面長中二十名は何故にや同盟して會議場に臨まず直ちに引還せり事態稍不穩なるが如きも原因判明せず

新朝鮮馬產出
蒙古馬を種馬として
期待される新朝鮮馬の將來
第二十師團 詠村獸醫部長談

蒙古馬は伊犂馬と少しく異なり外貌は甚だ振はない丈は低く四尺より四尺六寸を出でず、脚は太く短く胴は太く長く毛は深く粗にして

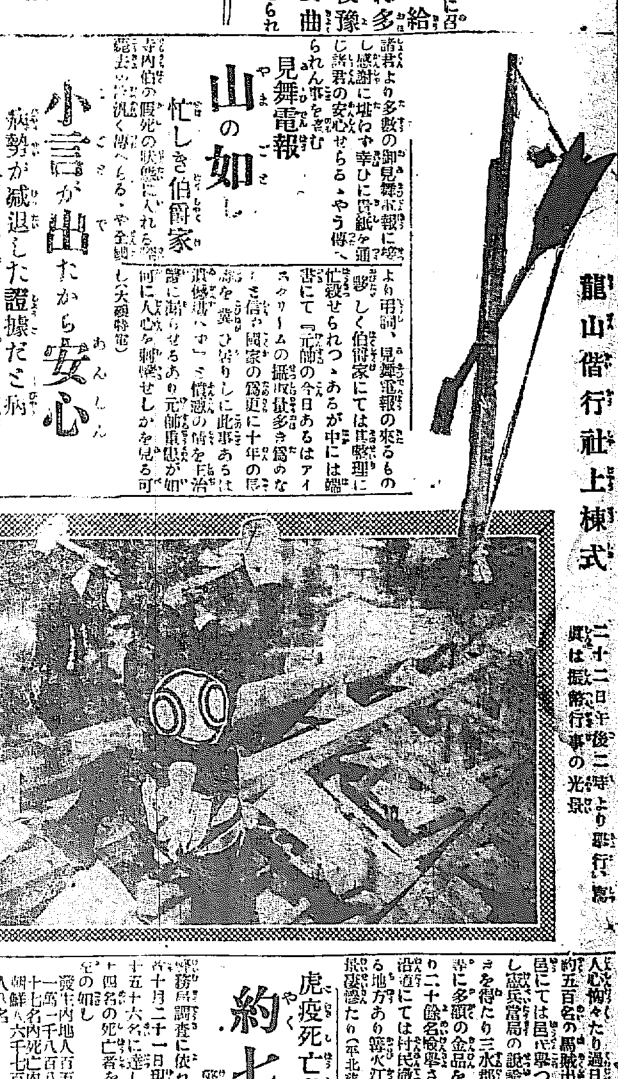
風采の揚ら ざる一種の醜矮馬である併し其の實力に至つては又別に尊ぶべき點があつて强健峻烈なる氣性粗惡なる飼料簡易なる取扱ひ等に對し一向に屈する事なく脚力の强き事持久力に富める事往々敬服さるゝである、以前其の名高かりし滿洲騎兵哥薩克兵等の一度此の馬背に跨らば懸崖も泥濘も沙漠も雪野も之を阻む能はず歷史上に見る所謂

驥北の驍駿 とは此の種の馬なるや論無く古來支那の中原に逐鹿なせしもの皆此馬に依らなかつたものはない彼の黃帝の蚩尤を懲らさむとして軍に用ゐし指南車を曳いたのも此馬なら又漢の高祖が强勢を攻むとて馬邑城に據り際限無く包圍され强弩四十萬騎に圍まれ大いに窮迫した時の强弩の馬も此種のものである又古今が中歐亞細亞を席捲し

西歐を脅迫 しスラブ迄も此種で蹂躙しハンガリーを留めたのも亦此馬種であつて當時蒙古人の支那を征服したるも此種の力に依つて出來たのである、蓋し蒙古馬なるものは世界の馬として一種の役も尊重すべきものであるが其の產地の絕えて文明の風に浴さざる爲め古來一向に改良せられたる形跡なく今猶原始時代の域を脫する事が出來ぬ之一面には其美點をも保存する所以であらうが一面には

其形の醜陋 をも改める事の出來ぬ所以である併し蒙古馬の西方に延びた枝には近年著しく改良されたるものがある即ち西伯利の西より歐露に亘れるウラル、ドンコザツク地方の馬は四五十年前より露國政府の計畫にてアラブ英純血種の優良牡馬を移入して之が改良を勵したる結果其の成績共に顯はれ古來の面目全く一新したるものあつて獨り乘馬のみならず西歐より入れたる中等大の輓馬に依りて

改良された ものには頗る善良なる輓馬を出すことゝなつた今や我が朝鮮乘馬を得むとしてアングロアラブを配し新朝鮮輓馬を得んとしてアングロノルマンを配す可く關谷牧場にて其の試みに着手された以上やや近き將來に良好なる成績を擧ける事は疑ふ迄もない、自分は關谷牧場を見て將來の朝鮮馬に對し望みを强うしたのである



龍山偕行社上棟式
二十二日午後二時より擧行、寫眞は振餅行事の光景

國境地方に馬賊出沒
徹夜にて警戒

鴨綠江上流谷地にては馬賊來襲の噂高く不安の氣分漲り居れるが支那官憲も亦兵力を增加して嚴重に警戒しつゝあるも依然として人心恟々たり過日對岸八道溝に約五百名の馬賊出現するや厚昌邑にては邑民擧つて避難せんとし憲兵當局の說諭にて漸く事無きを得たり三水郡の有力者中彼等に多額の金品を提供せる者ありて二十餘名檢擧されたり途中の沿道にては村民徹夜して戒る地方あり篝火江水に映じて光景慘たり(平北龜城特電)

虎疫死亡者
約七千
警務局の調査

警務局調査に依れば全鮮虎疫患者十月二十一日現在累計一萬二千五十六名に達し內六千八百十四名の死亡者を出したり內譯左の如し

患者　內地人百五十四名朝鮮人一萬一千八百八十五名支那人十七名
死亡　內地人七十九名朝鮮人六千七百二十七名支那人八名

朝鮮の質屋は貧民泣かせ
內地では改善に着手す
某質業家談

朝鮮の質屋の一は質置であるが利子が非常に高い、內地並に行かなくとも十圓以下一ケ月五分五厘以下四分などは法外と云つても可い程の高利である。

無擔保の 信用貸なら兎も角相當な擔保品を保留して年五割六割の高利を貪り其上賤は取る、流質期限は三ケ月で甚しく處分が出來る等は餘りにも甚過ぎはしないかと思ふが斯業の側から言はすれば贓品を取扱つた場合の補塡とか流質物處分の場合の

損害準備 とか樣々の理窟もあるやうだが何れにしても中產階級以下の金融機關としてはモツト低利で置主側にも便利な方法が必要であらう、內地では利子制限等も朝鮮よりは現在でも遙かに置主側に有利であるにも拘らず內務省では未だ〳〵改正の必要があると認め現に取締法改正の調査中であるが

其の內容 の要點は、贓品取扱に對する緩和、質業者以外に對する同一營業の制限外の事項で、質置主の保護策として二重利子に對する嚴重なる制限を加へ現在の弊害を一掃する事、流質物と質却代金の

差額分配 に關する規定質札發行に特例を設くる事、流質期限の緩和、質物品保管の設備等の由だが、二重利子即ち一月の中に利子を二度拂ふ事(又一部の品を質出するに全部の利子を拂はせたのを其出す一部だけで可いやうにし期限を

六ケ月位 とし、流質物と質却代金の差額は置主と質屋と分配するやうにならうと云はれるが之等は我國では新例であり權利觀念から云つても保護政策から云つても疾に實行さるべき問題であつた云々

密淫賣

北米倉町飲食店末廣方雇人市山みつ(二〇)は十九日旭町一丁目九州旅館止宿中の寺島淸信こと大正館に活動寫眞見物に赴き歸途九州旅館に立寄り寺島と同衾中を寺島に對する詐欺被告事件に付き現場に臨したる警官に發見され兩名共本町署に引致取調の末寺島は一夜同署に留め置かれ翌日放還されたるがみつは寺島と夫婦約束をし居れば決して金は取らぬと申し立てたれども前後六回密淫したる事實を自白したるより密淫賣の廉に依り拘留十日に處せられたり

醉つて亂暴

旭町一丁目山崎忠次郞方雇人藤原友爾(二五)は本月十六日御祭に祭し何處で飲んだか泥醉して本町一丁目喜樂館前に立居たる明治町二丁目七十三番地松葉料理人大水が通り掛りたるを何思ひつたか手頃の石を拾ひ上げ物をも云はず同人を亂打して休養一週間を要する傷を負はし直ちに本町署にて取調べ中なりしが二十二日一件書類と共に檢事局送り

◎森勝次氏逝く

貸家業金融業者として知られたる森勝次氏は去る二十日突然急性肺炎を起し二十一日夕南山下の自宅にて逝去した享年六十三、氏は福岡縣大牟田の人明治十六年仁川に來り土木請負に從事し後に京城に移り雜貨商を營みしが一年有半にして火災に罹り烏有に歸したるも剛毅果斷惡戰苦鬪し二十八年の戰役に際し地價暴騰の爲め巨利を占め次いで三十六年龍岩浦事件發生し人心恟々たるの時全力を傾注して土地買收を行ひ大いに成功せり其間屢々民團議員商業會議所議員に擧げらる

傳染病

府內漢江通四十四番地河野いく(二八)は廿一日腸チブスにて順化院へ▲義州通八十八番地大島總夫(一二)は二十一日腸チブスにて田中丸病院へ▲漢江通四十四番地河野淸太郞方河野慶三(一つ)同蓮池洞百八十番地山本春國方金子なみ(六五)は二十一日腸チブスにて總督府醫院へ收容

運動界
鐵道相撲大會

滿鐵京管局各課對抗相撲競技大會は來る天長の佳節をトし龍山社交倶樂部庭前に於て開催する事となりたるが選手は一課より三十名を選出し對抗競技せしむべく其他各課有志の五人拔等もある筈にて選手は目下猛烈に練習しつつあり

演藝

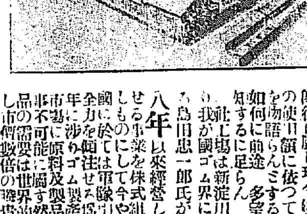
▲喜樂館　二十三日より映畫全部差替へ主なるものは▽鶯所面白き面の製造▽滑稽凸坊毛生藥の卷▽人情劇良心の囁き全六卷▲舊劇水戶黃門と河童の金藏全六卷　右の中人情劇良心の囁きはメトロ社の特別映畫にてフランシス、ブツシユマン氏、ベヴアリー、ベン嬢の……

東京期米特電

南滿製粉　四三、一〇

護謨工業株益々好望

▲南洋護謨株(五十二圓)一五八、〇〇
▲同新護謨株(十二圓半)八八、〇〇
▲太陽護謨株(五十五圓)一一八、〇〇
▲同新護謨株(二十圓)六八、〇〇
▲日東護謨株(二十圓)五八、〇〇
▲東京護謨株(十二圓半)四八、〇〇
▲豐國ゴム株(十二圓半)一七、〇〇



豐國ゴム株の眞價

資本金壹百萬圓(壹株金拾貳圓五拾錢拂込にして)
第一期より利益配當參割五分の豫定
貳ケ年間一割五分 責任配當保證附

護謨界の大勢既に活躍期に入り文明の進步の度が鐵道運輸高の如何に依て決せられしは既往に照し現今は將に護謨の使用額に依つて各國の盛衰を物語らんとするに至る以て如何に前途多望なるかを窺知するに足らん

社工場は新淀川の沿岸にあり我が國ゴム界に名聲嘖々たる島田忠一郞氏が明治卅八年以來經營し其內容充實せる事業を株式組織に變更せしものにして今や歐洲交戰各國に於ては軍隊引上げ備品に全力を傾注せる爲め今後兩三年に渉りゴム製產國は世界の市場に原料及製品を輸出する事不可能に屬す然れば同社製品の需要は世界的に益々激增し市價數倍の騰貴を告げ自然收益の激增を來すべし尙工場擴張の曉は其利益更に莫大に增加するものならん

右株式好出合有之候に付賣買共御便利に御取扱可申候

御注文の節は振替口座へ株數御記入御送金被下度候

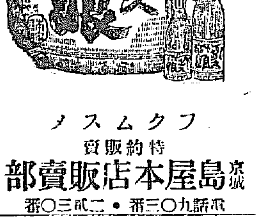
株式現物問屋 中林兵吉商店

明治廿一年創業

營業所 神戶市相生町四丁目

電話長一特五八五番 一參八四番
本局 九〇七番 四四八四番
九〇八番 四七三〇番
振替大阪 二三二番 三二〇番

日本優等淸酒
花木本家釀造



フクムスメ

特約販賣
京城 島屋本店販賣部
電話九〇三番・二三〇二番

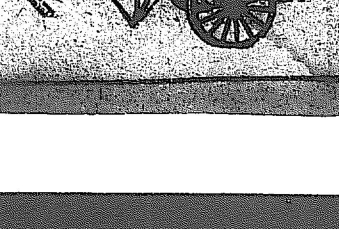
廿三日晝より 特別新映畫封切
米國メトロ會社特別作品封切
エドキンキヤリユー氏指導
ジヨーンマティース氏脚色
人情劇 良心の囁き 全六卷
名優フランシス・ブツシユマン氏
ベヴアリー・ベン孃 出演
說明者 右田旭花

日活京都派新撮影封切
櫻痴居士作
舊劇 水戶黃門と河童の金藏 全六卷
本篇の主役たる稻葉石見守は松之助が扮し水戶黃門は例の讚美之蒸獨特の黃門振りを發揮して居ます

▲特に普通料金
▲毎日晝夜開館
有樂館

前京城覆審法院判事
辯護士 法學士 切山篤太郎
京城黃金町二丁目一五九番地
(三井物產株式會社向側)
電話長一八六九番

◈火災恐るべからず
◈不用意恐るべし
諸君の部落には完全なる消防組の設備ありや
(ポンプカタロク進呈)



京城 熊平支店
電話長三六四番
振替京城一二二五番

學生募集 日本自動車學校 東京蒲田(規則郵送)

二十三日ヨリ三十日マデ
五分引 提供
既成品 賣出
セビロデー

別誂ト變リナキ弊店特製セビロ、チバートンビ多數出來仕候此際絕體忠實ナル定價ニ對シ更ニ五分引ノ特價ヲ以テ提供仕候間陸續御買上ノ程希上候

京城南大門通
丁子屋洋服店

定休日謹告
毎月第一第三日曜日休業

父勝次儀豫而病氣之處養生不相叶二十一日午後六時死去致候に付此段謹告仕候
追て葬儀は來る貳十四日午後四時自宅出棺南山本願寺に於て執行可仕候
大正八年拾月貳拾貳日

男 森辰男
親戚總代 藤田國太郎 森田村常再兵衞 和田村常造 中村太兵衞 山口卯之吉 松本管市 古城貝冶 古賀富房 秋吉大太郎

友人總代

泡の蜘蛛

挿畫　近藤紫雲

江見水蔭

【四】

小糸は田部谷に追詰められて、自動車の周圍を逃げ廻つてゐたが、其間に低う呼吸が切れて來て、苦しさに耐へられなく成つたのか、思はず車内へ轉げ込むやうにして、腰掛の上にバッタリ倒れ伏した。

續いて田部谷が、之も可成り鼻息を荒くして、飛込まうとした時に、遠籬の蔭から、一人飛出した。それは分けて、突然一人飛出した。それは柿を買ひに遣らされた筈の運轉手が、何時の間にやら戻つて來たので有つた。

物をも云はず田部谷の襟首へ手を掛けて、力一杯後へ引倒した。

田部谷の大きな體が、無様に大道へ尻餅を搗いた。其途端に手折朝が飛んで、隱れてゐた禿頭が全く露出した。

『誰だッ、何するッ』と田部谷は叫んだ。

『私ですよ、運轉手ですよ』

『ムッ、貴様、柿を買つて來たのか』

『柿なんか誰が買ひに行くものですか。いづれ這んな事だらうと思ひましたから、道の曲つた處から直ぐ畑の中へ出て、根切りの空溝を道に沿うて傳つて、尾花隱れに此處まで戻つたのですよ』

『餘計な事ぢやア無いか。吾輩は今此の婦人に對して、結婚を申込んでる處なんだ』

『其の婦人の方が拒絕してるぢやア有りませんか』

『貴樣、何も口を出すにや及ばん。貴樣はなんだ。運轉手ぢやア無いか。運轉手が職務なんだから、默つて自動車だけ操縦してれば好いぢやア無いか』

『それなら、何故運轉手に、柿を買はせに遣つたのですか』

『だから低賃に一圓の半分遣つたぢやア無いか』

『馬鹿にするねいッ——この豚人種め!』

『何だと?』

『男女二人で郊外の乘廻しなら、隨分な意味でもチップは五圓だ。默を切るこ成ると、十圓から下は取られた事はねえのだよ』

運轉手の態度は一變した。

『そ、それやア又別に……別に遣るッモリだつたのだが……』と起上つた田部谷は、外套の砂埃を揮ひ〳〵云つた。

『それにしても駄目なんだよ。此女には屆きした亭主がチャンと有るんだから、無理に結婚を申し込んだッて、應じっこは有りはしねえよ』

『ヘッ、亭主がある?』

今まで自動車内で戰慄してゐた小糸は、亂れ毛を鐵火に搔上げ〳〵出て來つて、

『田部谷さん、駄目よ。妾の體は豫約濟よ』

『何だ?』

『妾の亭主は此人なのよ』

と云ひつゝ、小糸は運轉手の肩に手を掛けた。

『何んだ、運轉手がお前の亭主だッて?』と田部谷の吃驚した顏と云つたら無かつた。

『あら、運轉手々々と、そんなに安く云ふものぢやア無い事よ。この人だッて飛行家に成るツモリで、飛行機學校へ入つたのよ。唯飛行知識を得る爲に、自動車の方も練習したのが、今ぢやア生活の助けに成つたので。未だそんなにハンドル那ばは入つてないわよ』

『それでは、本統に此男がお前の亭主かッ』

『正式の結婚をしなくッても、亭主は亭主よ。ダムダム彈次さこ云つてはね、隨分今までに、多くの人を戰慄さして來た男よ』

『ダムダム彈次?、こ、それでお前は、何ちうか』

『妾?、妾は矢張小糸さいふのよ。苗字は紺野で名が小糸よ。唯年齡に僞りが有るわよ。二十歲さ君に敎へたがねぇ。實は最う二十七よ。女は化物よ』

『いづれ貴樣のやうな女には、何さか綽名が有るだらう』

『それは有るわよ』

牛乳 衛生御用 朝鮮ホルスタイン 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

日報歌壇

枕頭語

磯田修（京城）

病めばかくもはかなき物か間ひくれし友の言葉に涙なおほゆ

胸のあたりの息くるしさにふさ眠覺め小夜床さほく母を憶へり

快越し健やかな友のいびき寢聞きつゝもさな我は病めれば

身を病めば常にはうさき友ながら老ゆらくの母眼にうかみ來も

眠られぬ夜なりけむここに靜けき夜さながら聞ゆあかして朝さなりけり

皆寢れてしづもる部屋にひさりきけば風のそこひにある心地すれ

苦しさに眠られぬ夜の遙かにきく風へ〳〵さ絕々もある哉

良夜か胸の痛みを告げむさし母いきさぬに眼閉ぢたり

苦しさなしぬびてあれどほさ〳〵に今は疲れて眠りたるらむ

夜さながら窓をあかして朝さなりぬ陽の光にもおびかる心

病み疲れ床になほりてさる妻の窗にふれし音ふき淋しかり

旅疲よりさめしけだるさよ宿の主人の蝸打つ音の階下に聞ゆ

□ 仙名倭文子（京城）

更けし夜の大氣さ雨さうつしよさ夜夜つめたく我に迫るか

思ふ事唯に煩みつ終らむか餘りに弱さ子なる悲しみ

□ 岩田起代子（京城）

すべて云ふ我の言葉を打消して世の人我に作るまなざし

華やかに我をもて成す人々は餘りに悲しき痴なりしかも

□ 横田さかね（京城）

秋の思ひ破るゝものを皆破り裂くもの裂かば嘸ろし思ひか

ひつそりさ紫陽の花の萎む時我の心も沈むさすか

□ 村田比呂夢（京城）

戀へやらず家を出づれば秋の風ばあかく稲にさしそひぬたり

與きここ云ひたる後の泉なす涌く淋しさは堀へしさぞ思ふ

□ 江頭朝人（京城）

窓氣池無さに泣かるる心世話かけし事の數々拾ひてぬたり

河添ひの土が家々あか〳〵さ夕

□ 岩本兎厚暦（京城）

陽てりそひかたげなく見ゆ

眼れゆく我身いさしみ玄海の灘になしき物思ひする

夜は深し想ひ破ろ船の搖れ身閲ゆしては吐息つくかも

□ 佐田草人（京城）

そのかみの心未めず行末の身を知なく我兒愛つる瞬間よ

夜おそく筆執るし愛し立ち座り續て幼き兒の寢顏見る

規約　詠草には住所姓名明記され度し紙上の隱名は隨意為詠草は明瞭に認められ度し以上の規約に隨はぬ人は遺憾ながら沒書さす

三行詩

秋の收穫

佐田草人

○ 蒼白き小夜子の顏や連れて出で日向の一歲の兒に光り撒き太陽

○ 身の上を祈る可し我兒すこやかに秋の太陽さ共にあれ

○ いろいろの人の思わくその中の仕事にぐつたりさ疲れ歸る夜路

○ 涙拭つても悲しみの解けぬ夕暮良人默して語らぬ日々

○ 泣き兒を叱れば子を背負つて妻の出しに獨り殘る夜の部屋

我等の俳句

芹郎

野菊は朝は一人の姉を信ぜんとする

野菊からまの咲く水の畑の音たり

稻架共に倒るる菊雨日の背はなく

さゝ漢流れ野邊の野菊伏すべて

身を置き草はつめたし野菊花もちぬ

野菊踏み〳〵我が路を股けたり

○ 貞敏

秋の山邊牛追ふ聲して山邊淋しき

たまさかの秋日來て背言張るの

柿吊して健やかな君が子達

○ 鳥堂

野菊から我家見るもの、妨なし

牛休の三人の足もさの野菊

十柿竿に机の抽斗の十四札

新刊紹介

▲解放（特別號）最近思潮を傳へたる評論雜誌にして勞働問題其の他の重要時事問題に關する諸大家の意見を掲げ又附錄には新進作家の創作八篇あり（九十錢、東京々橋區楓町一五大鐙閣）

▲井上圓了先生（東洋大學校友會著）故井上博士追悼記念として發行せられたるもの博士の傳記、年譜、著書目錄、弔辭及知友門下の感想ご追悼等を收めたる四百餘頁の大冊なり（二圓、東京小石川原町東洋大學校友會）

▲南滿洲鐵道株式會社十年史　滿洲鐵道の十年史にして大規模なる會社の內容、事業を詳細に記述したるもの附屬事業の發展狀況等何れも注目に値すべく一千頁に近き大冊にして外に詳細なる地圖及びコロタイプ寫眞多数を挿入せり（非賣品、大連南滿鐵道株式會社）

▲黄薇之友（一一）岡山縣下の事物を攻究論議して汎く縣人の事業及活動狀況等を報じて同縣人の結束を謀らんとす

▲獨逸語青年（三の一〇）詩歌獨語日の四季社交會話と獨法和文獨譯橋中佐短篇小說讀本研究巴里ホテルの怪盜等（三十錢東京市本鄕龍岡町三四獨逸語青年社）

▲內外活動寫眞雜誌（一〇）活動寫眞の新映畫名優其他の寫眞さ評

鍼灸 濟生堂 玄鍼 藤井百太郎 入院隨意 本町三丁目

懸賞詰將棋（第一二回）

出題者　京城若草町九七　六段　溝呂木光治

持駒　角、金、金、銀、桂

▲募集規定▼

賞品　本社代理部發賣券價格壹圓

入賞者　二名（但正解者多數の時は抽籤の事）

締切　十一月五日

注意　宛京城日報社將棋係

▲經濟資料（五の七）二拾五錢　東京市麴町區有樂町一南滿洲鐵道株式會社東亞經濟調査局

▲海友（一一二）二拾五錢大連市東京市京橋區新富町一東京法律事務所

▲法治（五八）拾五錢東京市京橋

▲良民（九）五錢東京市麴町區平河町五丁目良民社

▲水產界（四四五）東京赤坂區溜池町一大日本水產會

▲日本蠶絲雜誌（八九）八錢名古屋市東區呉服町三の五日本蠶絲雜誌社

▲朝鮮農會報（九）貳拾錢水原勸業模範場內朝鮮農會

▲ローマ字（一〇）拾五錢東京市麴町區有樂町ローマ字ひろめ會

ジャパンタイムス少年號（五）十七錢東京麴町區內幸町一ジャパンタイムス學生號出版所

急告く急告　毛布暴落買時

本毛製特別大判　金三圓廿五錢（茶、鼠、キ色）

ね小便と小便近き人へ

人助けの爲め無代進呈す　京城本町橘通地町　救世院　電話京城三九七六

京日案內

雇はれたし　知人年三十四年位業務員たらん希望の方內各會社商店に周旋したし

鑄物職工習募集　龍山京町一　京城鑄物製作所

事務員募集　無盡　京城殖產會社

質屋新築移轉　北米倉町　毛利質店

ほねつぎ　柔術道場　明治町

恩給立替　西村商會

春川原州　酒井運送店

毛皮なめし　京城本町二丁目

有給社員募集　三田政商店

毎月休日第三日曜日

世間百般 挨拶の仕方

男女共に心得べき

▲挨拶、儀式、對話法其他

▲交際上の心得を詳述す

▲社交の秘訣

即座演説集　特價八十錢　有效社書店

醫化學諸器械一式　北島藥店

賣藥種卸商

御化粧用 ベスパー石鹸 VESPER TOILET SAVON　萬玉洋行

致富秘訣 金を殖やす法（無代進呈）

治る病をナゼ治さぬ ろくまく。肺病

人助けタダアゲル。全治實驗

新婚後一ヶ月間が危險

結婚すべき男女の注意

運勢判定術

通信教授　直に開業 月收多額

腦とはな ぜんそく

腦病、鼻病、ぜんそくで種々の藥を用ゐて効なく困難せらるゝ方は返信切手三錢添早速御照會あれ

東京芝南佐久間町一　上山腦藥所

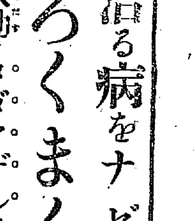
オキシパサー

模造品續出す御注意

定價金參拾八圓

大日本オキシパサー商會　東京麴町區有樂町一ノ三

特約店　龍山驛前通　本高明



るいれき

短期 自動車運轉手

一ヶ月卒業

酸素工場の設計

日本工業株式會社　東京市京橋區南傳馬町一丁目十七番地　電話京橋四三〇八番

大改良經濟ランプの特長は何

特約代理店募集す　御希望の方は特に御相談に應ず

大畑洋燈部東京支店

大畑五郎商店